

平成23年社会生活基本調査 福井県の概要

◇生活時間編◇

— 主な用語 —

- 1 次活動 … 睡眠、食事など生理的に必要な時間
- 2 次活動 … 仕事、家事など社会生活を営む上で義務的な性格の強い活動
- 3 次活動 … 1次活動、2次活動以外で各人が自由に使える時間における活動

— 利用上の注意 —

この結果概要では、

- ・特に曜日の指定のないものは、1日の生活時間（週全体平均）の数値を記載している。
- ・特に断りのない限り、総平均時間（該当する種類の行動をしなかった人を含む全員の平均）を記載している。

1. 1日の生活時間の配分

(1) 概観

① 1次活動時間及び3次活動時間は増加、2次活動時間は減少

過去1年間（平成22年10月20日～23年10月19日。以下同じ）に本県に住んでいる10歳以上の人について1日の生活時間をみると、1次活動時間が10時間44分、2次活動時間が6時間56分、3次活動時間が6時間21分となっている。

平成18年と比べると、1次活動は1分増加、2次活動は19分減少、3次活動は19分増加となっている。（表1-1）

② 男女ともに2次活動時間減少、3次活動時間は増加

生活時間を男女別にみると、男性は1次活動時間が10時間38分、2次活動が6時間47分、3次活動時間が6時間34分、女性は、1次活動時間が10時間48分、2次活動時間が7時間4分、3次活動時間が6時間8分となっており、1次活動時間及び2次活動時間は女性が長く、3次活動時間は男性が長くなっている。

平成18年と比べると、男性は2次活動時間が18分減少し、3次活動時間が16分増加、女性は2次活動時間が21分減少し、3次活動時間が22分増加などとなっている。（表1-1）

表1-1 男女、行動の種類別生活時間（平成18年、23年）

（時間：分）

	総数			男			女		
	平成18年	平成23年	増減	平成18年	平成23年	増減	平成18年	平成23年	増減
1次活動	10:43	10:44	0:01	10:37	10:38	0:01	10:48	10:48	0:00
睡眠	7:48	7:48	0:00	7:56	7:56	0:00	7:40	7:40	0:00
身の回りの用事	1:17	1:18	0:01	1:06	1:07	0:01	1:27	1:28	0:01
食事	1:38	1:38	0:00	1:35	1:35	0:00	1:41	1:40	▲0:01
2次活動	7:15	6:56	▲0:19	7:05	6:47	▲0:18	7:25	7:04	▲0:21
通勤・通学	0:23	0:23	0:00	0:28	0:28	0:00	0:18	0:17	▲0:01
仕事	4:07	3:46	▲0:21	5:14	4:53	▲0:21	3:04	2:43	▲0:21
学業	0:41	0:39	▲0:02	0:44	0:43	▲0:01	0:37	0:35	▲0:02
家事	1:28	1:28	0:00	0:20	0:22	0:02	2:32	2:30	▲0:02
介護・看護	0:02	0:03	0:01	0:01	0:01	0:00	0:04	0:05	0:01
育児	0:13	0:15	0:02	0:05	0:06	0:01	0:22	0:23	0:01
買い物	0:21	0:22	0:01	0:13	0:14	0:01	0:29	0:31	0:02
3次活動	6:02	6:21	0:19	6:18	6:34	0:16	5:46	6:08	0:22
移動（通勤・通学を除く）	0:27	0:28	0:01	0:27	0:27	0:00	0:28	0:29	0:01
テレビ・ラジオ・新聞・雑誌	2:15	2:18	0:03	2:21	2:25	0:04	2:09	2:11	0:02
休養・くつろぎ	1:16	1:35	0:19	1:16	1:31	0:15	1:17	1:39	0:22
学習・自己啓発・訓練（学業以外） ¹⁾	0:10	0:10	0:00	0:10	0:10	0:00	0:11	0:10	▲0:01
趣味・娯楽	0:43	0:45	0:02	0:55	0:53	▲0:02	0:33	0:38	0:05
スポーツ	0:14	0:14	0:00	0:18	0:18	0:00	0:11	0:10	▲0:01
ボランティア活動・社会参加活動	0:05	0:04	▲0:01	0:05	0:05	0:00	0:04	0:04	0:00
交際・付き合い	0:18	0:17	▲0:01	0:17	0:20	0:03	0:20	0:15	▲0:05
受診・療養	0:10	0:12	0:02	0:09	0:11	0:02	0:12	0:13	0:01
その他	0:22	0:17	▲0:05	0:21	0:15	▲0:06	0:22	0:18	▲0:04
（再掲）									
家事関連 ²⁾	2:04	2:08	0:04	0:39	0:43	0:04	3:27	3:29	0:02
休養等自由時間活動 ³⁾	3:31	3:53	0:22	3:37	3:56	0:19	3:26	3:50	0:24
積極的自由時間活動 ⁴⁾	1:12	1:13	0:01	1:28	1:26	▲0:02	0:59	1:02	0:03

1) 平成18年調査項目名は「学習・研究（学業以外）」

2) 家事・介護・看護、育児及び買い物

3) テレビ・ラジオ・新聞・雑誌及び休養・くつろぎ

4) 学習・自己啓発・訓練（学業以外）、趣味・娯楽、スポーツ及びボランティア活動・社会参加活動

③ 女性の3次活動は全ての曜日で増加

生活時間を曜日別にみると、1次活動時間及び3次活動時間は日曜日が最も長く、2次活動時間は、平日が最も長くなっている。

平成18年と比べると、1次活動時間は平日で増加、土曜日及び日曜日で減少、2次活動時間は平日及び土曜日で減少、日曜日で増加、3次活動時間は平日及び土曜日で増加、日曜日で減少している。（表1-2）

表1-2 男女、行動の種類、曜日別生活時間（平成18年、23年）（時間:分）

		平成18年			平成23年			増減		
		平日	土曜日	日曜日	平日	土曜日	日曜日	平日	土曜日	日曜日
総数	1次活動	10:32	10:58	11:23	10:34	10:56	11:20	0:02	▲0:02	▲0:03
	2次活動	8:11	5:39	4:11	7:45	5:27	4:18	▲0:26	▲0:12	0:07
	3次活動	5:17	7:22	8:25	5:41	7:37	8:22	0:24	0:15	▲0:03
男	1次活動	10:27	10:50	11:14	10:28	10:53	11:16	0:01	0:03	0:02
	2次活動	8:13	5:12	3:13	7:51	4:53	3:22	▲0:22	▲0:19	0:09
	3次活動	5:19	7:57	9:33	5:41	8:14	9:22	0:22	0:17	▲0:11
女	1次活動	10:36	11:05	11:32	10:39	11:00	11:23	0:03	▲0:05	▲0:09
	2次活動	8:09	6:05	5:06	7:39	5:58	5:10	▲0:30	▲0:07	0:04
	3次活動	5:15	6:50	7:22	5:41	7:02	7:26	0:26	0:12	0:04

(2) 年齢階級別にみる生活時間

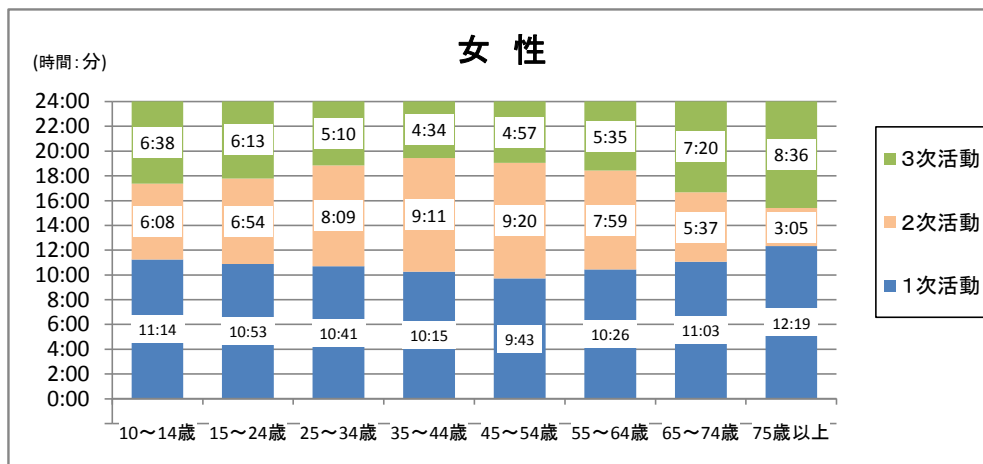
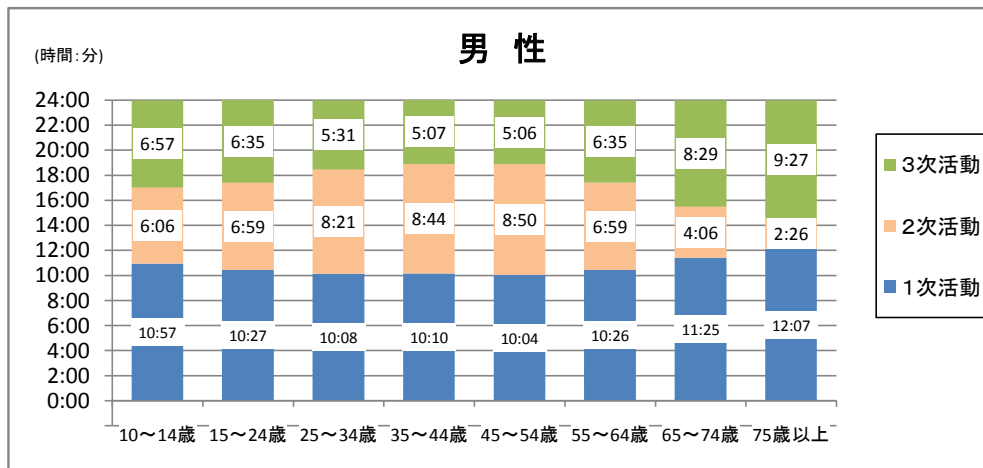
① 2次活動時間は、男女共に45～54歳が最も長い。

生活時間を年齢階級別にみると、1次活動時間は、男女ともに45～54歳（男性10時間4分、女性9時間43分）が最も短く、75歳以上（男性12時間7分、女性12時間19分）で最も長くなっている。

2次活動時間は、男女ともに75歳以上（男性2時間26分、女性3時間5分）が最も短く、45～54歳（男性8時間50分、女性9時間20分）で最も長い。

3次活動時間は、男性が45～54歳で5時間6分、女性が35～44歳で4時間34分と最も短く、男女とも75歳以上（男性9時間27分、女性8時間36分）で最も長い。（図1）

図1 男女、年齢階級、行動の種類別生活時間



2. 1次活動

(1) 睡眠

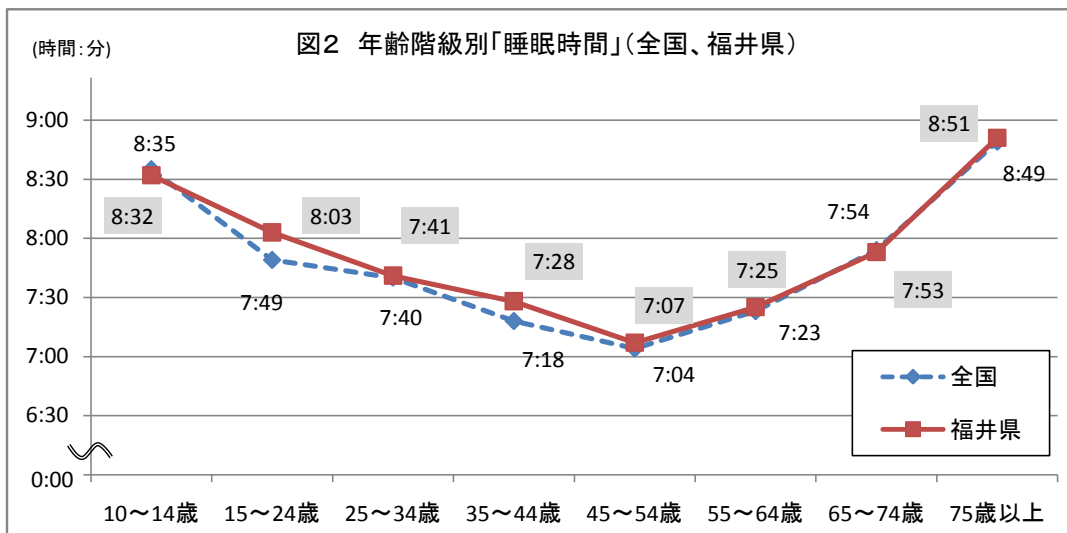
睡眠時間は、45～54歳で最も短く75歳以上で最も長い

「睡眠時間」は7時間48分であるが、男性は7時間56分、女性は7時間40分で、男性が16分長くなっている。

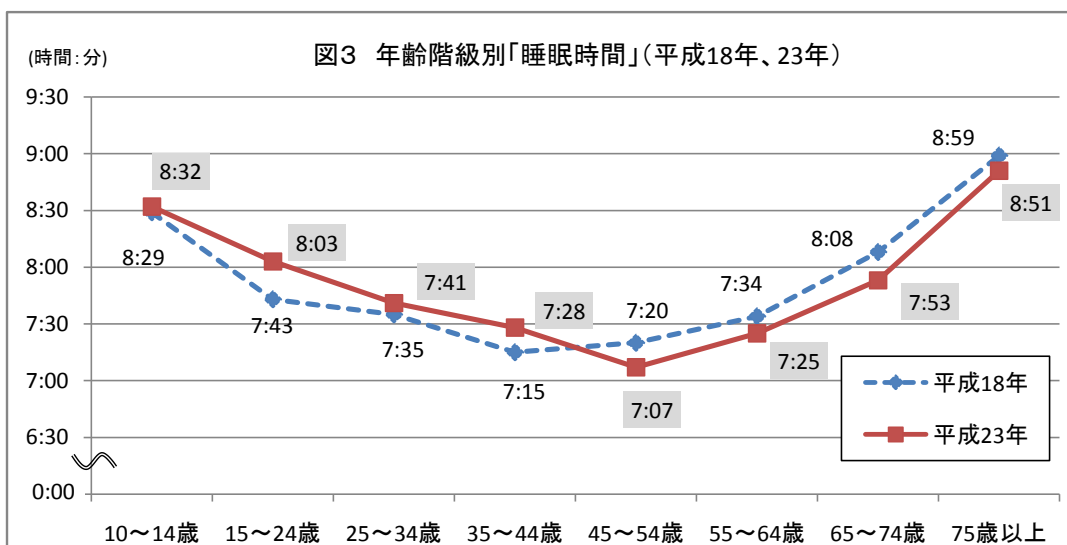
年齢階級別にみると、45～54歳が7時間7分と最も短く、次いで55～64歳の7時間25分などとなっており、75歳以上が8時間51分と最も長くなっている。

なお、睡眠時間の長さは全国15位で、平成18年の16位から1ランク上昇した。

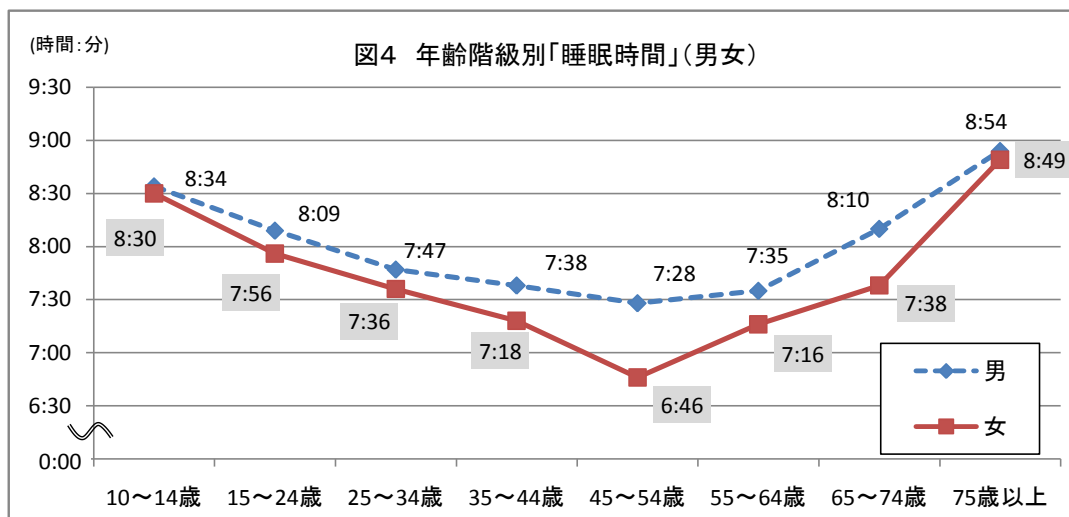
- ① 「睡眠時間」を全国の7時間42分と比べると、6分長くなっている。
これを年齢階級別にみると、10～14歳と65～74歳をのぞく全ての年齢階級で長くなっている。特に、15～24歳で全国平均より14分長くなっている。(図2)



- ② 「睡眠時間」は、平成18年の7時間48分と同じである。
これを年齢階級別にみると、10～44歳で長く、45歳以上で短くなっている。特に、15～24歳で20分長く、65～74歳で15分短くなっている。(図3)



- ③ 「睡眠時間」を男女、年齢階級別にみると、すべての年齢階級で男性が長い。特に45～54歳では、42分の差が見られる。(図4)



(2) 身の回りの用事

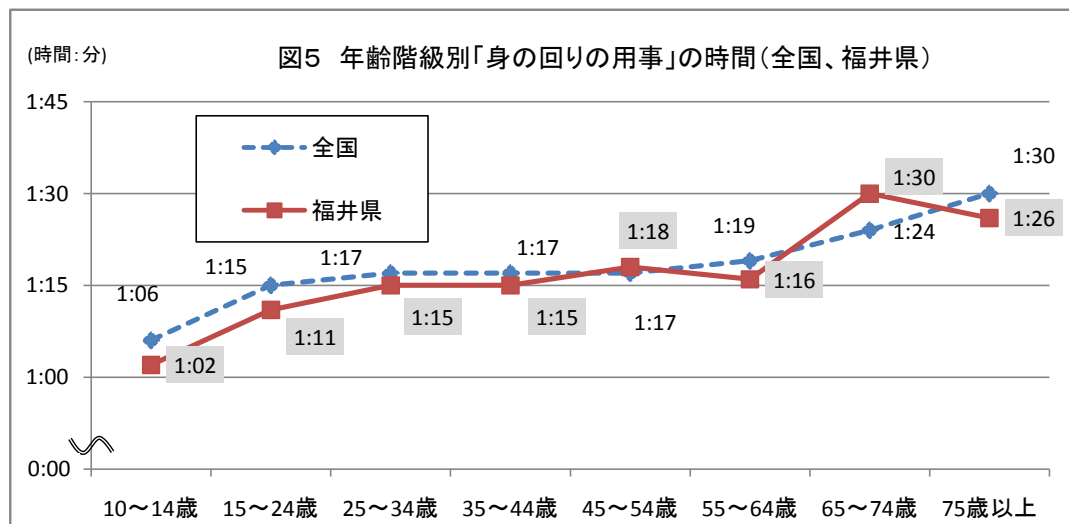
身の回りの用事の時間は全ての年齢階級で女性が長い

「身の回りの用事」の時間は1時間18分であるが、男性は1時間7分、女性は1時間28分で、女性が21分長くなっている。

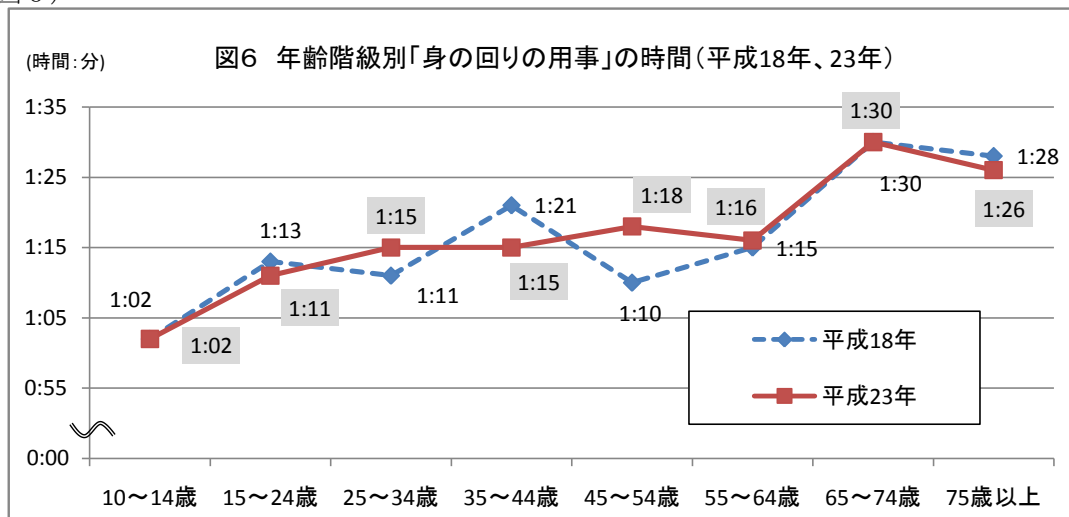
年齢階級別にみると、10～14歳が1時間2分と最も短く、次いで15～24歳の1時間11分などとなり、65～74歳が1時間30分と最も長くなっている。

なお、「身の回りの用事」の時間の長さは全国26位で、平成18年の9位から17ランク低下した。

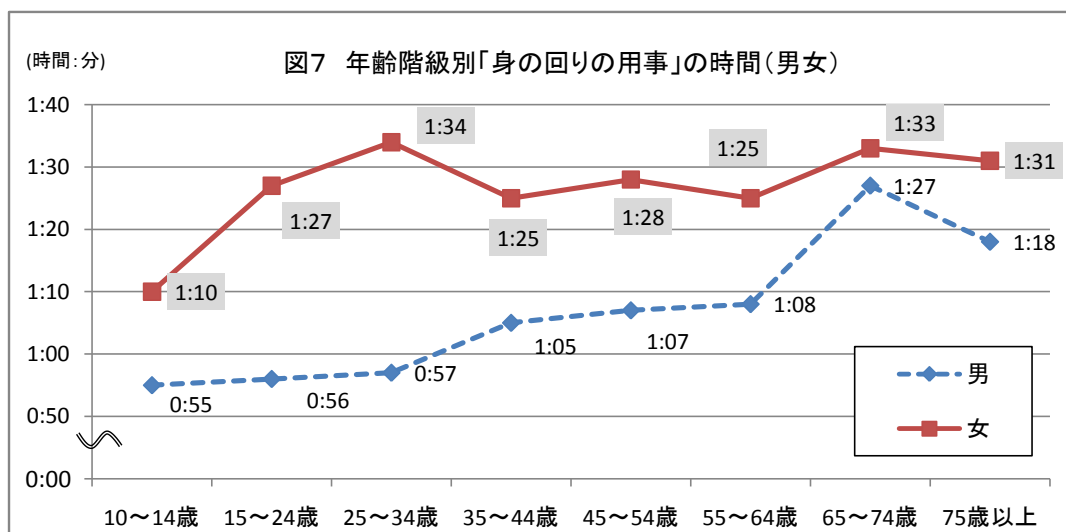
- ① 「身の回りの用事」の時間を全国の1時間19分と比べると、1分短くなっている。これを年齢階級別に見ると、45～54歳と65～74歳をのぞく全ての年齢階級で短くなっている。65～74歳では、全国平均より6分長くなっている。(図5)



- ② 「身の回りの用事」の時間を平成18年の1時間17分と比べると、1分長くなっている。これを年齢階級別にみると、10～44歳（1時間2分）、65～74歳（1時間30分）で同じである。15～24歳、35～44歳、75歳以上では短くなっており、それ以外の年齢階級では長くなっている。（図6）



- ③ 「身の回りの用事」の時間を男女、年齢階級別にみると、すべての年齢階級で女性の方が長い。特に25～34歳で37分の差が見られる。（図7）



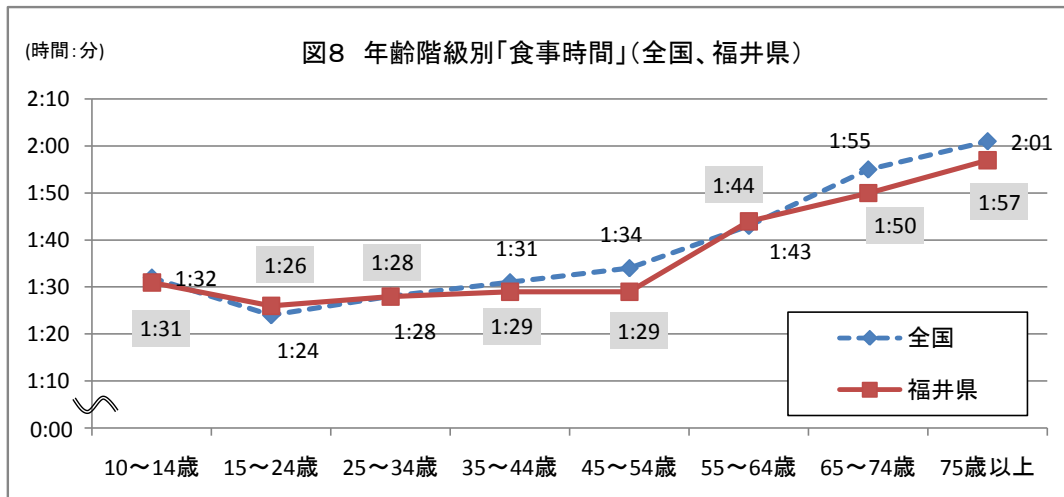
(3) 食事

食事時間は高齢層で長い

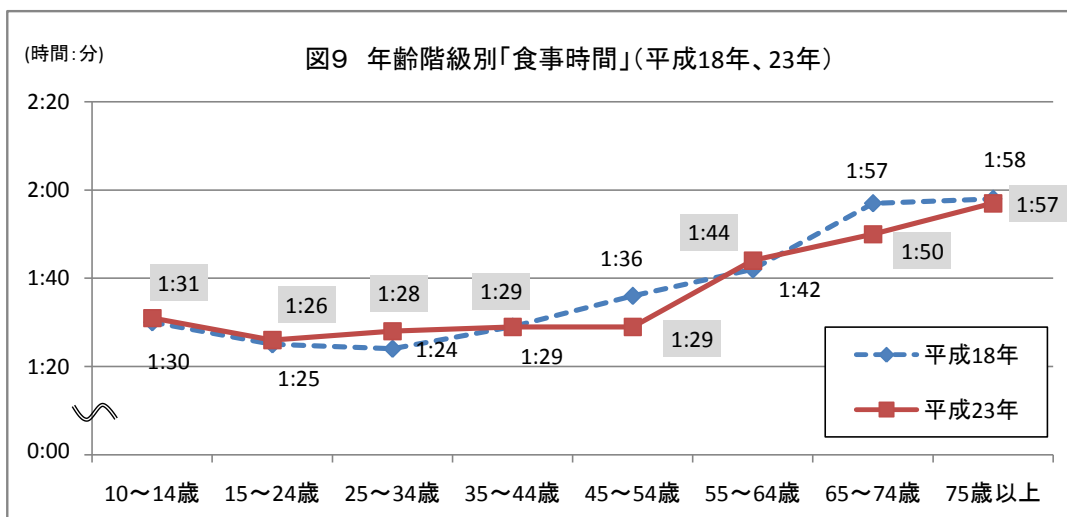
「食事時間」は1時間38分であるが、男性は1時間35分、女性は1時間40分で、女性が5分長くなっている。

年齢階級別にみると、15～24歳が1時間26分と最も短く、次いで25～34歳及の1時間28分などとなっており、75歳以上が1時間57分と最も長くなっている。15歳以上は年齢階級が高くなるほど長くなる傾向となっている。

- ① 「食事時間」を全国の1時間39分と比べると、1分短くなっている。
これを年齢階級別に見ると、25～34歳で同じ、15～24歳と55～64歳をのぞく全ての年齢階級では短くなっている。(図8)

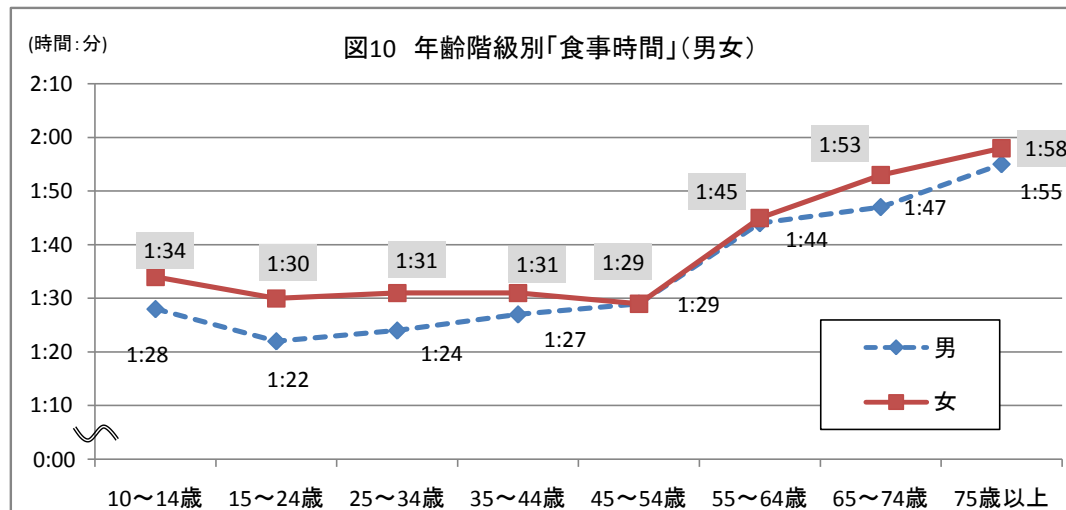


- ② 「食事時間」は、平成18年の1時間38分と同じである。
これを年齢階級別にみると、35～44歳(1時間29分)では同じである。45～54歳、65歳以上では短くなっており、それ以外の年齢階級では長くなっている。(図9)



- ③ 「食事時間」を男女、年齢階級別にみると、45～54歳で同じ、それ以外のすべての年齢階級で女性の方が長い。

75歳以上が、男性（1時間55分）、女性（1時間58分）ともに最も長くなっている。（図10）



3. 2次活動

(1) 仕事

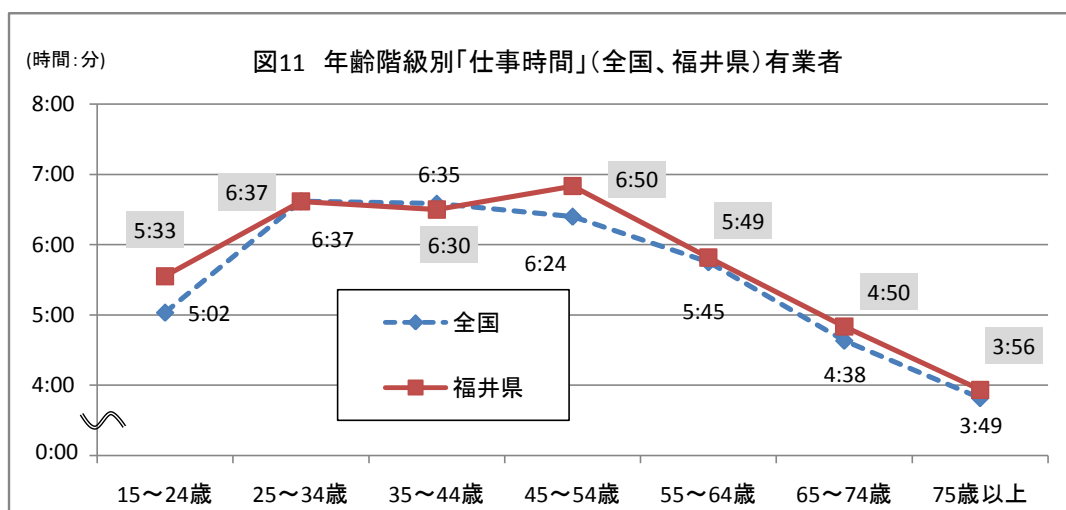
仕事時間は男女とも45～54歳で最も長い

「仕事時間」（15歳以上／有業者）は6時間10分であるが、男性は7時間1分、女性は5時間8分で、男性が1時間53分長くなっている。

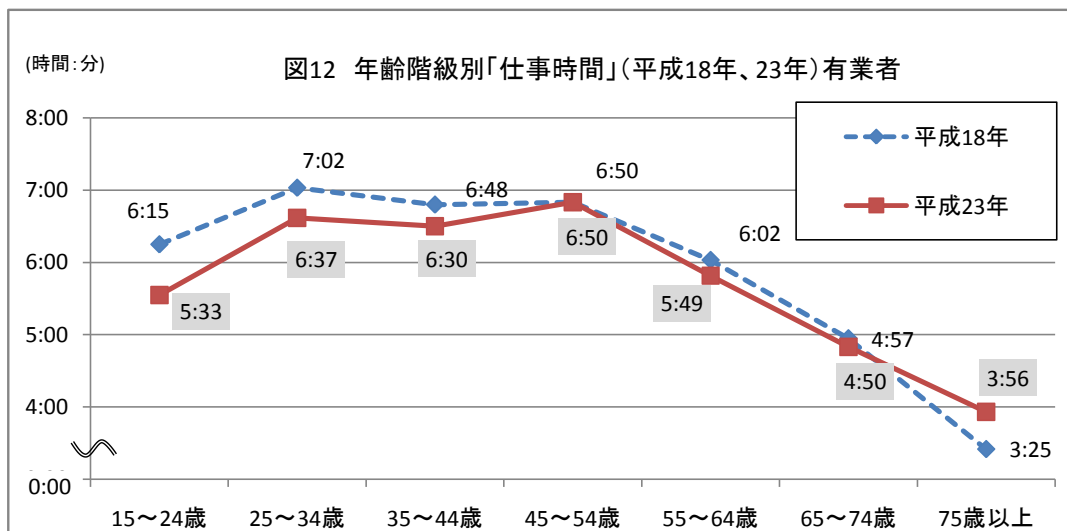
年齢階級別にみると、75歳以上が3時56分と最も短く、次いで65～74歳の4時間50分などとなっており、45～54歳が6時間50分と最も長くなっている。

なお、有業者の「仕事時間」の長さは全国13位で、平成18年の8位から5ランク低下した。

- ① 「仕事時間」を全国の6時間2分と比べると、8分長くなっている。これを年齢階級別にみると、25～34歳で同じであり、35～44歳をのぞく全ての年齢階級で長くなっている。特に、45～54歳で全国平均より26分長くなっている。（図11）

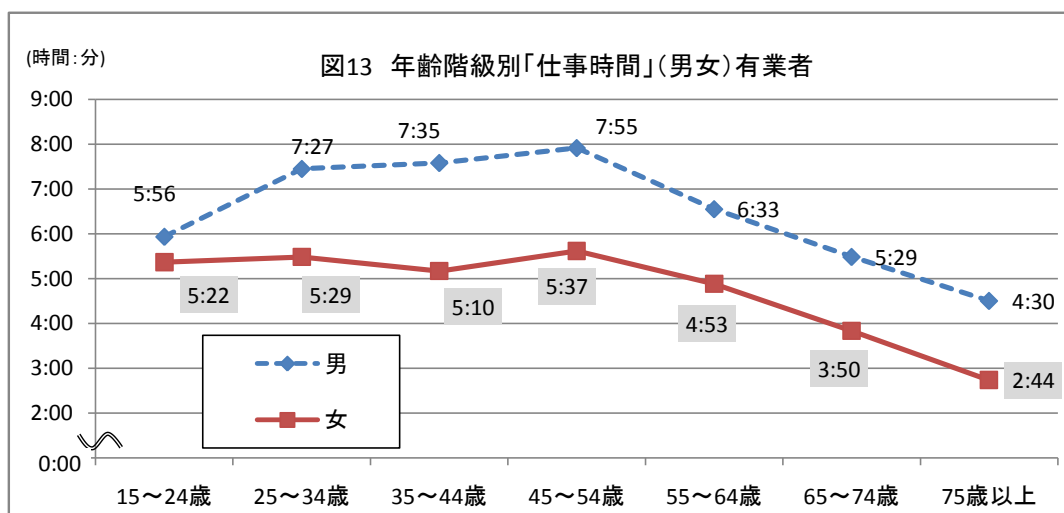


- ② 「仕事時間」を平成18年の6時間25分と比べると、15分短くなっている。これを年齢階級別にみると、45～54歳では同じ、75歳以上では長くなっているが、それ以外の全ての年齢階級では短くなっている。（図12）



- ③ 「仕事時間」を男女、年齢階級別にみると、全ての年齢階級で男性の方が長い。特に、35～44歳で2時間25分の差がみられる。

男女ともに45～54歳（男性7時間55分、女性5時間37分）が最も長く、75歳以上（男性4時間30分、女性2時間44分）が最も短くなっている。（図13）



(2-1) 家事関連 (家事、介護・看護、育児及び買い物)

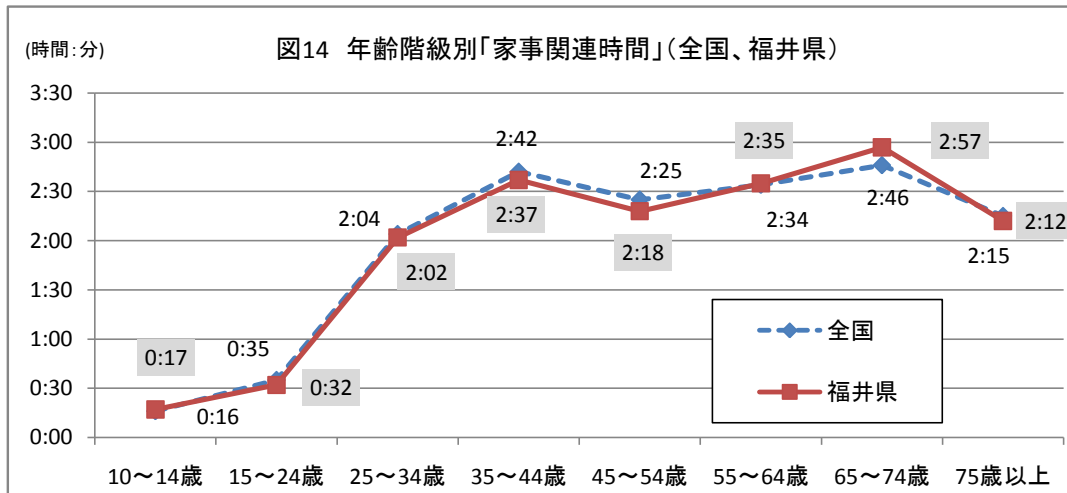
家事関連時間は65～74歳の女性が最も長い

「家事関連時間」は2時間8分であるが、男性は43分、女性は3時間29分で、女性が2時間46分長くなっている。

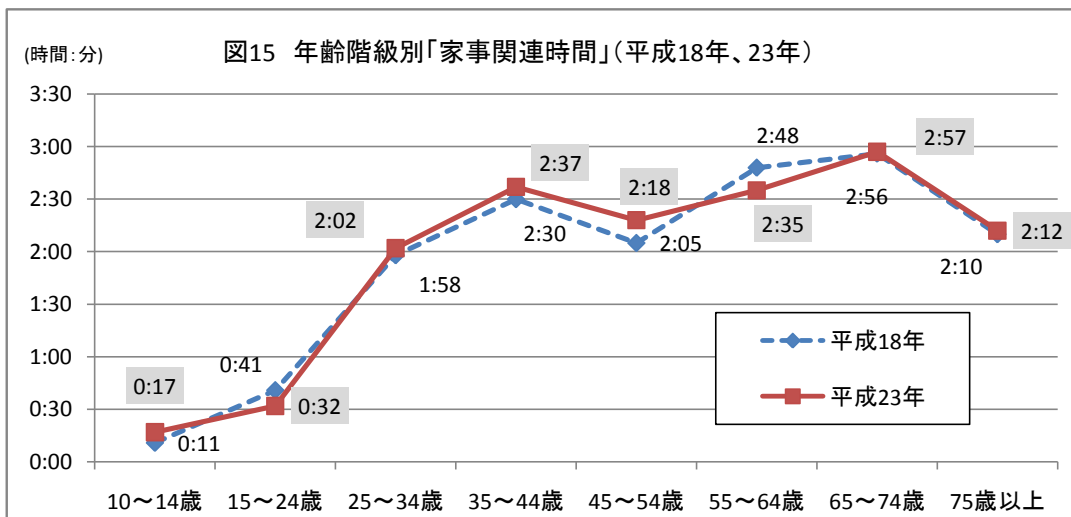
年齢階級別にみると、10～14歳が17分と最も短く、次いで15～24歳の32分などとなっており、65～74歳が2時間57分と最も長くなっている。

なお、「家事関連時間」の長さは全国27位で、平成18年の32位から5ランク上昇した。

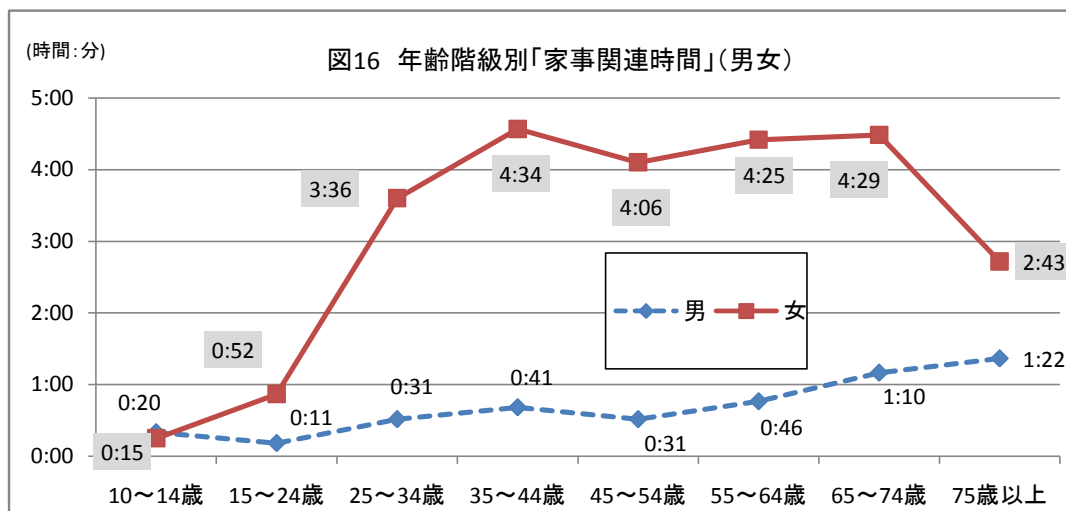
- ① 「家事関連時間」を全国の2時間10分と比べると、2分短くなっている。これを年齢階級別にみると、10～14歳と55～64歳でそれぞれ1分、65～74歳で11分長くなっている。それ以外の年齢階級では、短くなっている。(図14)



- ② 「家事関連時間」を平成18年の2時間4分と比べると、4分長くなっている。これを年齢階級別にみると、15～24歳、55～64歳以外の年齢階級で長くなっている。特に、45～54歳で13分長くなっている。(図15)



- ③ 「家事関連時間」を男女、年齢階級別にみると、10～14歳を除く全ての年齢階級で女性の方が長い。特に35～44歳では、3時間53分の差が見られる。(図16)



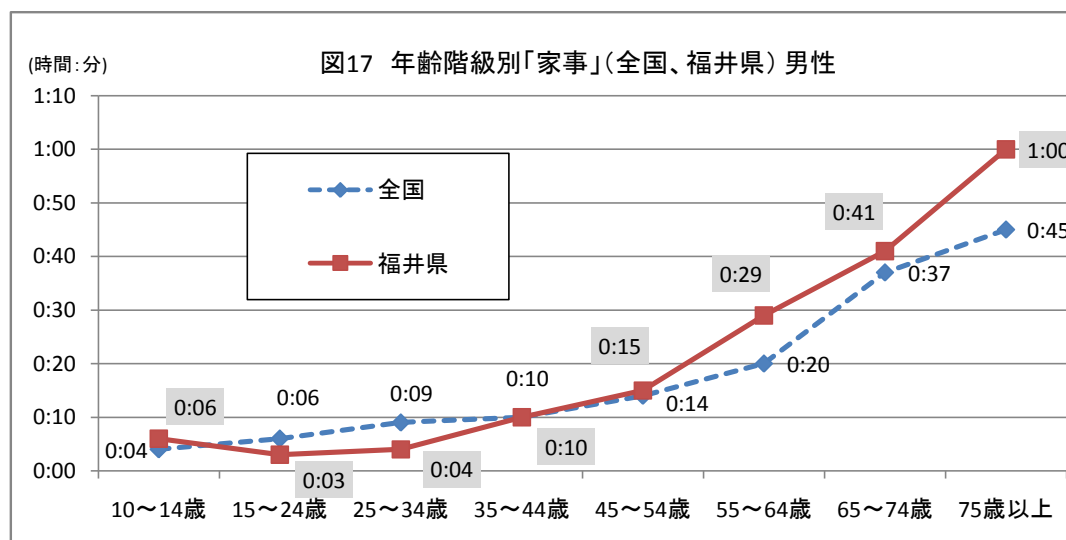
(2-2) 家事・育児

男性の育児は全国5位

家事関連時間のうち、「家事」と「育児」についてみると、家事は1時間28分で全国22位、育児は15分で7位となっている。

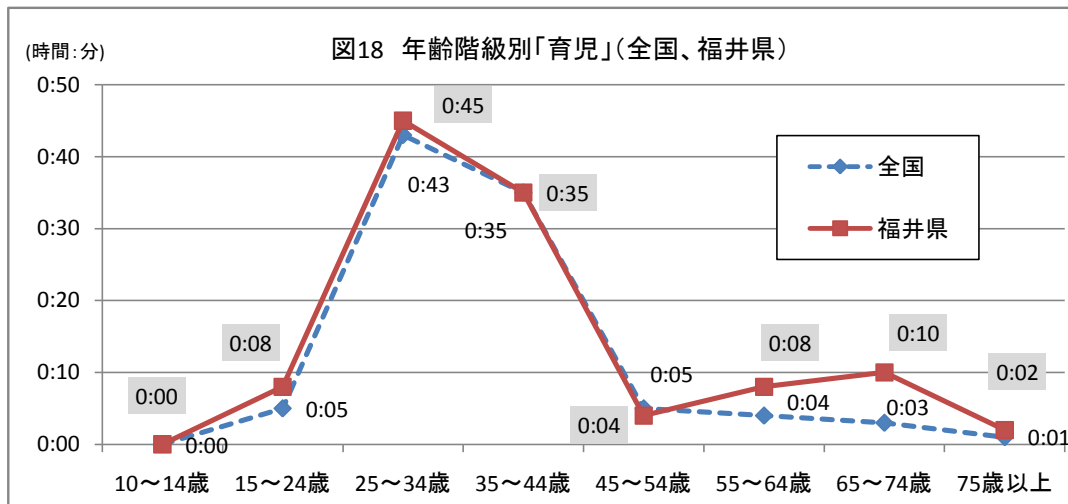
男女別にみると、男性は、家事が22分で9位、育児が6分で5位、女性は、家事が2時間30分で25位、育児が23分で14位である。

- ① 男性の「家事」を全国の18分と比べると、4分長くなっている。これを年齢階級別にみると、35～44歳で同じ、15～34歳は短い、それ以外では全国を上回っている。(図17)



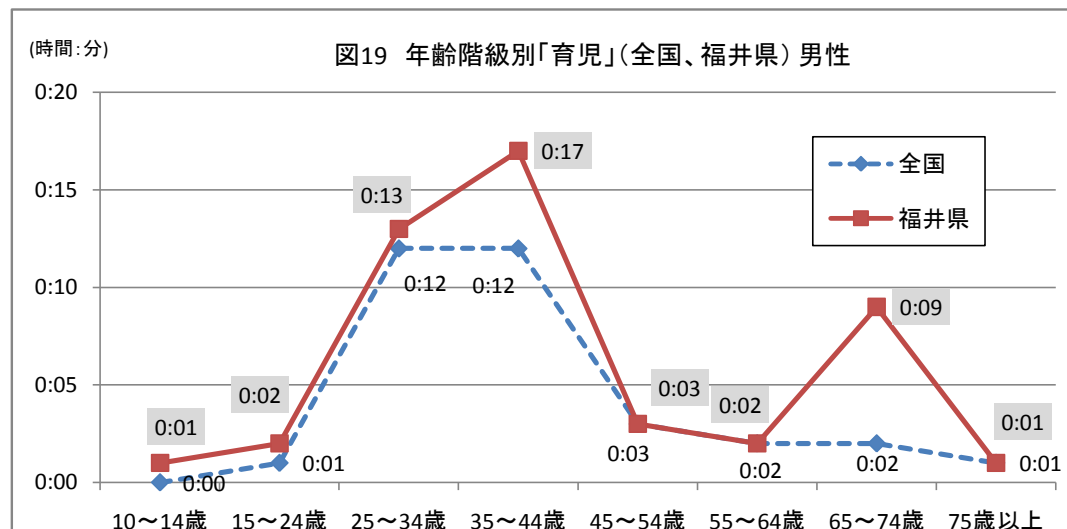
② 「育児」を全国の14分と比べると、1分長くなっている。年齢階級別では、15～34歳及び55歳以上で全国を上回っている。

特に、55～64歳では全国の2倍、65～74歳では3倍以上となっている。(図18)



③ 男性の「育児」を全国の5分と比べると、1分長くなっている。これを年齢階級別にみると、45～64歳及び75歳以上では同じ、それ以外では長くなっている。

特に、65～74歳では、4倍以上全国を上回っている。(図19)



4. 3次活動

(1-1) 休養等自由時間活動 (テレビ・ラジオ・新聞・雑誌及び休養・くつろぎ)

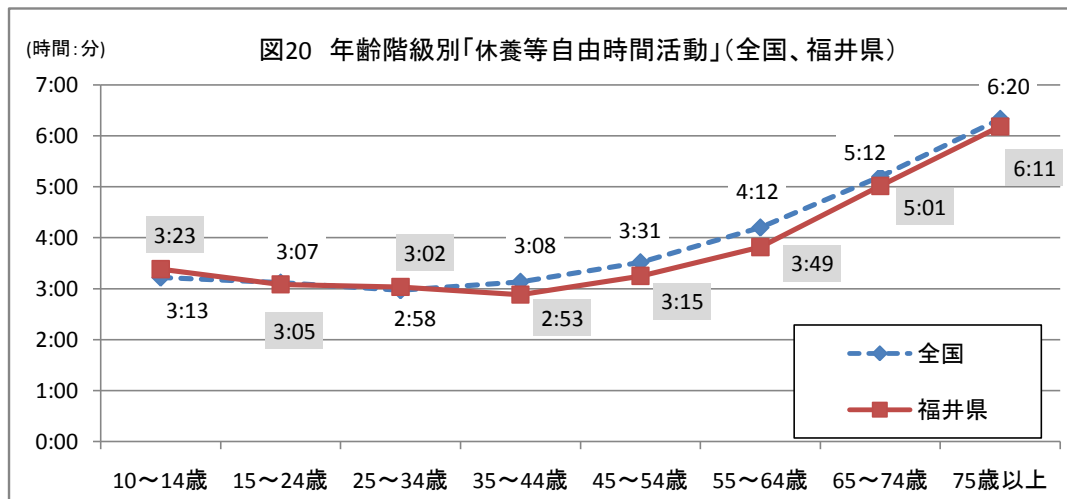
休養等自由時間活動時間は男女とも35～44歳が最も短く75歳以上が最も長い

「休養等自由時間活動時間」は3時間53分であるが、男性は3時間56分、女性は3時間50分で、男性が6分長くなっている。

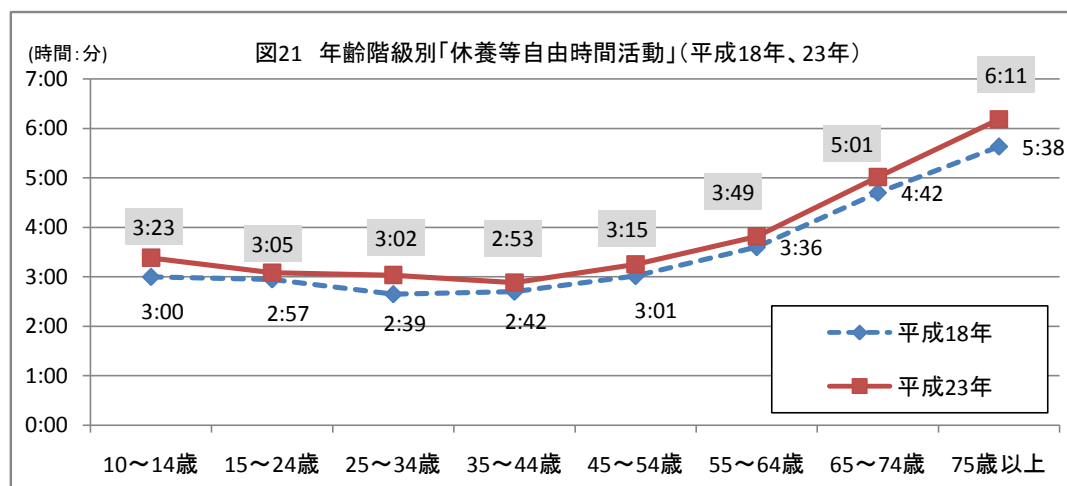
年齢階級別にみると、35～44歳が2時53分と最も短く、次いで25～34歳の3時間2分などとなっており、75歳以上が6時11分と最も長くなっている。

なお、「休養等自由時間活動時間」の長さは全国37位で、平成18年の47位から10ランク上昇した。

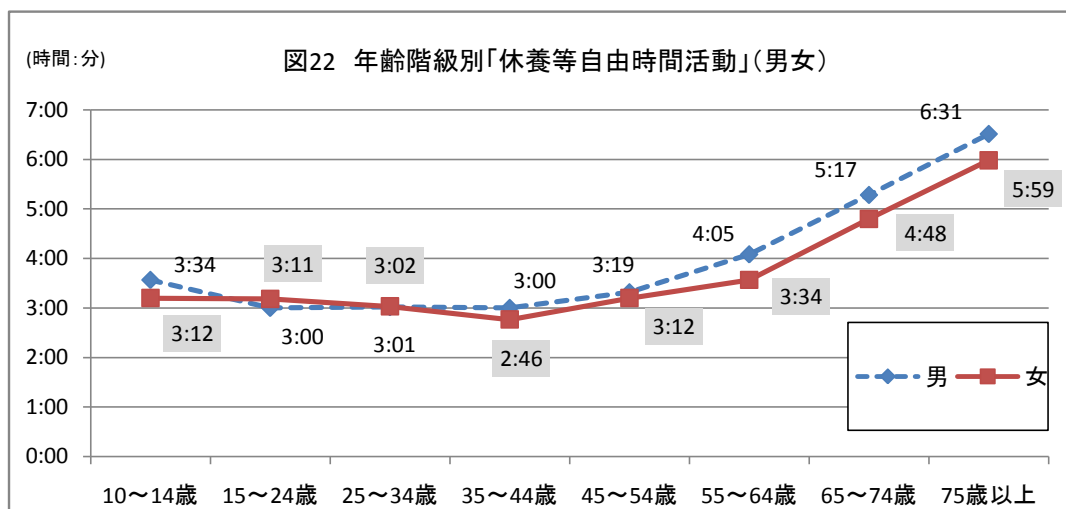
- ① 「休養等自由時間活動時間」を全国の3時間58分と比べると、5分短くなっている。これを年齢階級別にみると、10～14歳で10分、25～34歳で4分長くなっているが、それ以外の年齢階級では短くなっている。特に、55～64歳では、23分の差が見られる。(図20)



- ② 「休養等自由時間活動時間」を平成18年の3時間31分と比べると、22分長くなっている。これを年齢階級別にみると、全ての年齢階級で上回っている。(図21)



- ③ 「休養等自由時間活動時間」を男女、年齢階級別にみると、15～34歳を除く全ての年齢階級で男性の方が長い。特に75歳以上では32分の差が見られる。(図22)

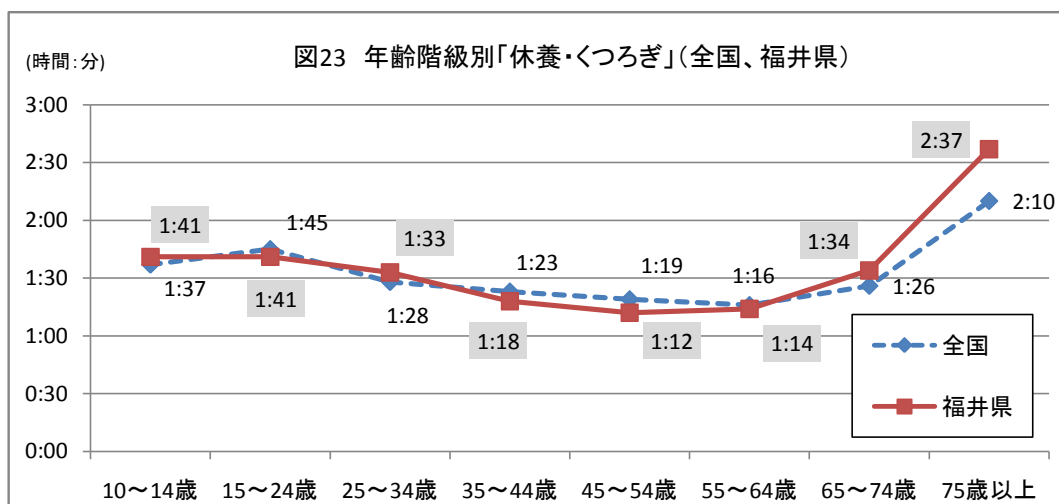


(1 - 2) 休養・くつろぎ

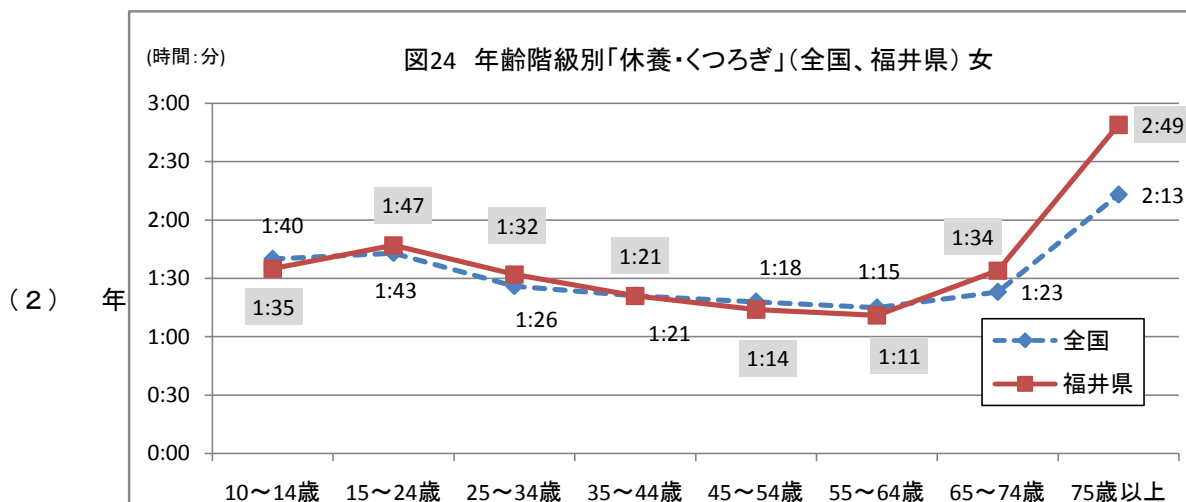
女性の休養・くつろぎは全国4位

休養等自由時間活動のうち、「休養・くつろぎ」は、1時間35分で全国9位である。男女別にみると、男性は、1時間31分で26位、女性は、1時間39分で4位となっている。

- ① 「休養・くつろぎ」を全国の1時間31分と比べると、4分長くなっている。年齢階級別にみると、10～14歳、25～34歳、65歳以上で長くなっており、特に75歳以上で27分全国を上回っている。(図23)



- ② 女性の「休養・くつろぎ」を全国の1時間31分と比べると、8分長くなっている。全国、福井県共に75歳以上が最も長く、55～64歳が最も短くなっている。(図24)



(2-1) 積極的自由時間活動

(学習・自己啓発・訓練(学業以外)、趣味・娯楽、スポーツ及びボランティア活動・社会参加活動)

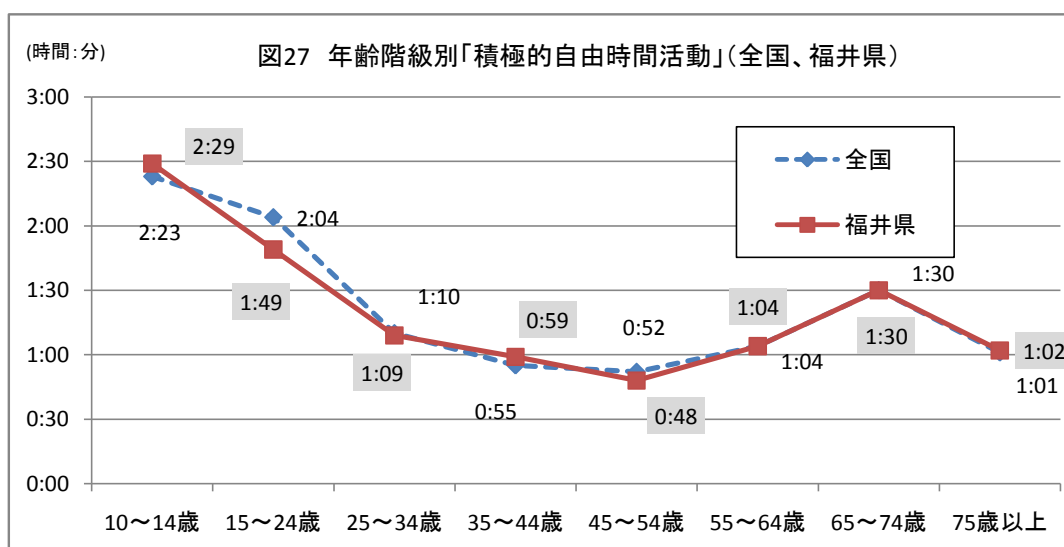
積極的自由活動時間は全ての年齢階級で男性が女性より長い

「積極的自由時間活動」は1時間13分であるが、男性は1時間26分、女性は1時間2分で、男性が24分長くなっている。

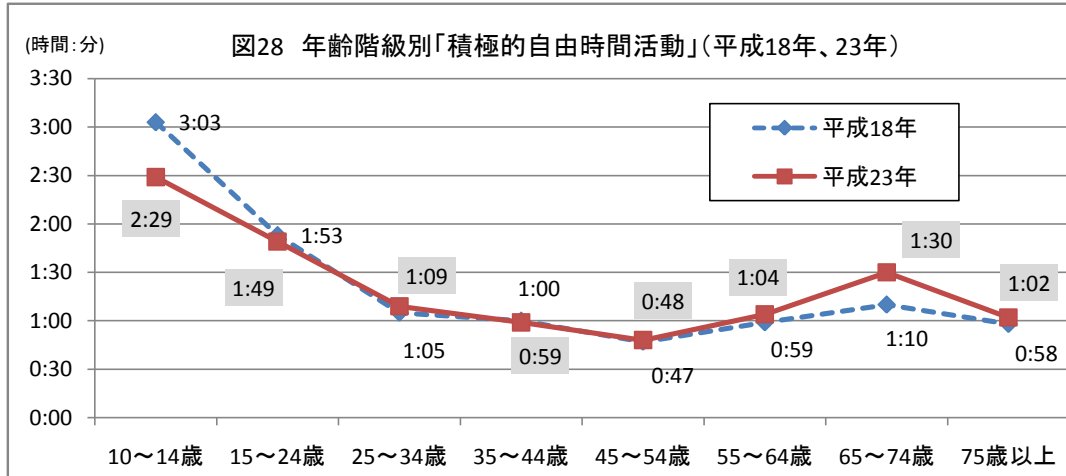
年齢階級別にみると、45～54歳が48分と最も短く、次いで35～44歳の59分などとなっており、10歳～14歳が2時29分と最も長くなっている。

なお、「積極的自由時間活動」の長さは全国19位で、平成18年の26位から7ランク上昇した。

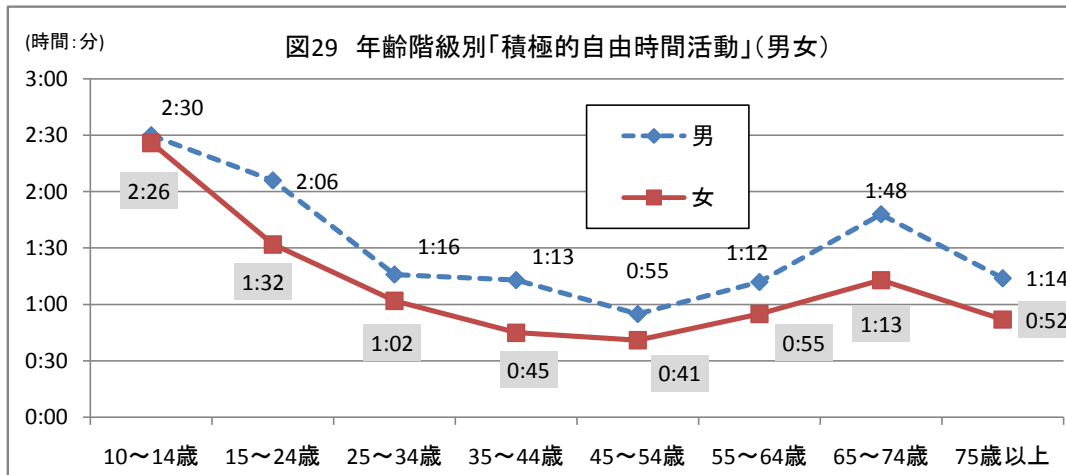
- ① 「積極的自由時間活動」を全国の1時間14分と比べると、1分短くなっている。これを年齢階級別にみると、10～14歳で6分、35～44歳で4分、75歳以上で1分長くなっているが、それ以外の年齢階級では同じか、短くなっている。特に、15～24歳では、15分の差が見られる。(図27)



- ② 「積極的自由時間活動」を平成18年の1時間12分と比べると、1分長くなっている。これを年齢階級別にみると、10～24歳、35～44歳で短くなっており、特に10～14歳では34分の差が見られる。それ以外の年齢階級では長くなっており、65～74歳では20分長くなっている。(図28)



- ③ 「積極的自由時間活動」を男女、年齢階級別にみると、すべての年齢階級で男性の方が長い。特に65歳～74歳では35分の差が見られる。(図29)

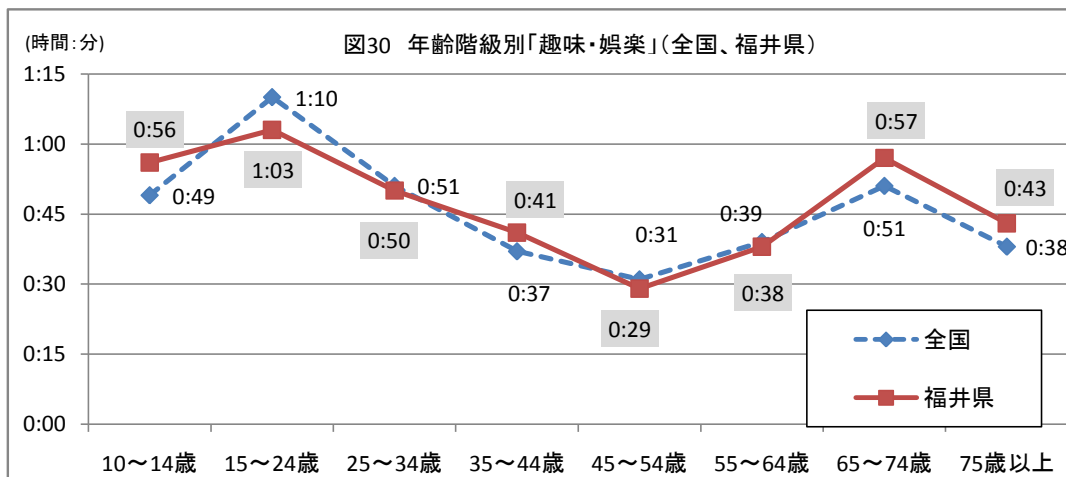


(2 - 2) 趣味・娯楽

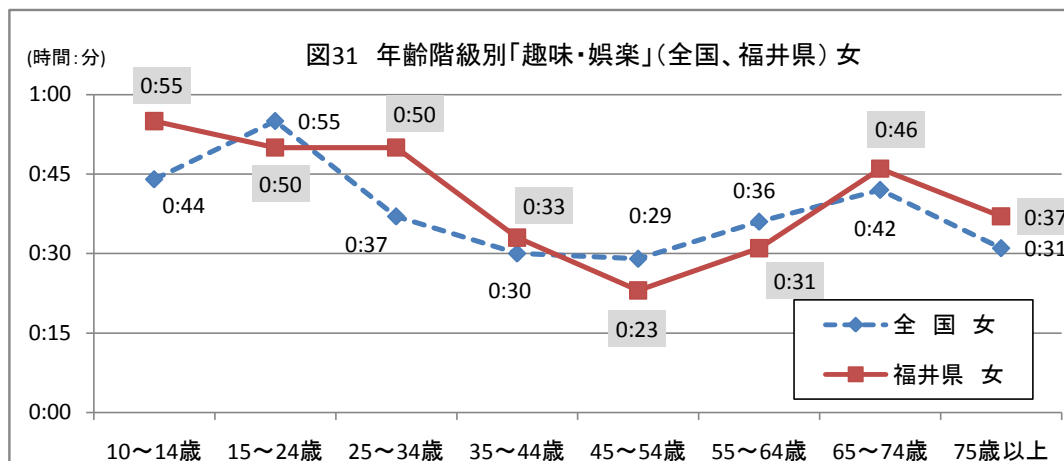
女性の趣味・娯楽は全国7位

積極的自由時間活動のうち、「趣味・娯楽」は、45分で全国8位である。男女別にみると、男性は、53分で12位、女性は、38分で7位となっている。

- ① 「趣味・娯楽」を全国の44分と比べると、1分長くなっている。年齢階級別にみると、10～14歳で7分長くなっているほか、35～44歳、65歳以上で長くなっている。それ以外は短くなっており、15～24歳では7分差となっている。(図30)



- ② 女性の「趣味・娯楽」は全国の37分より1分長くなっており、年齢階級別では10～14歳、25～44歳、65歳以上で長くなっている。特に25～34歳では13分全国を上回っている。(図31)



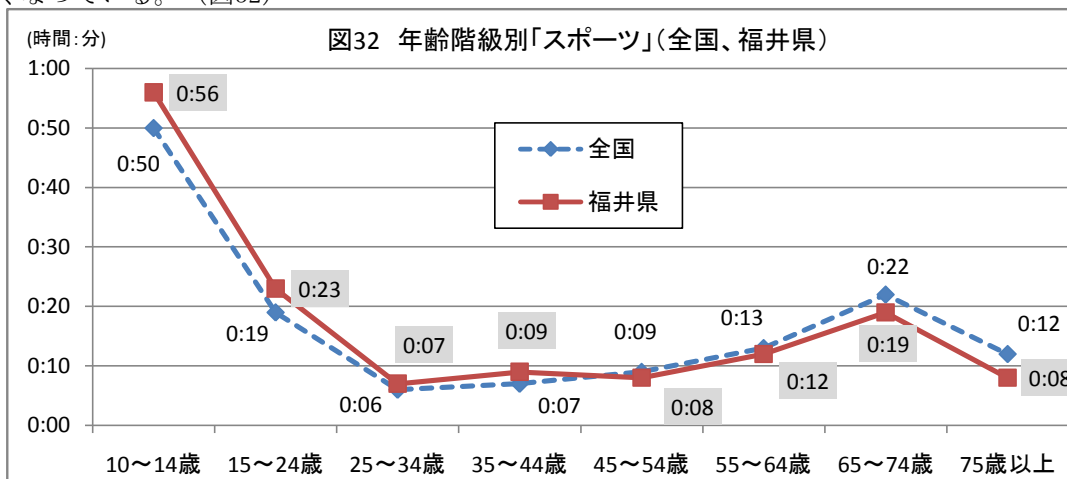
(2-3) スポーツ

スポーツは男女共に10～14歳が最も長い

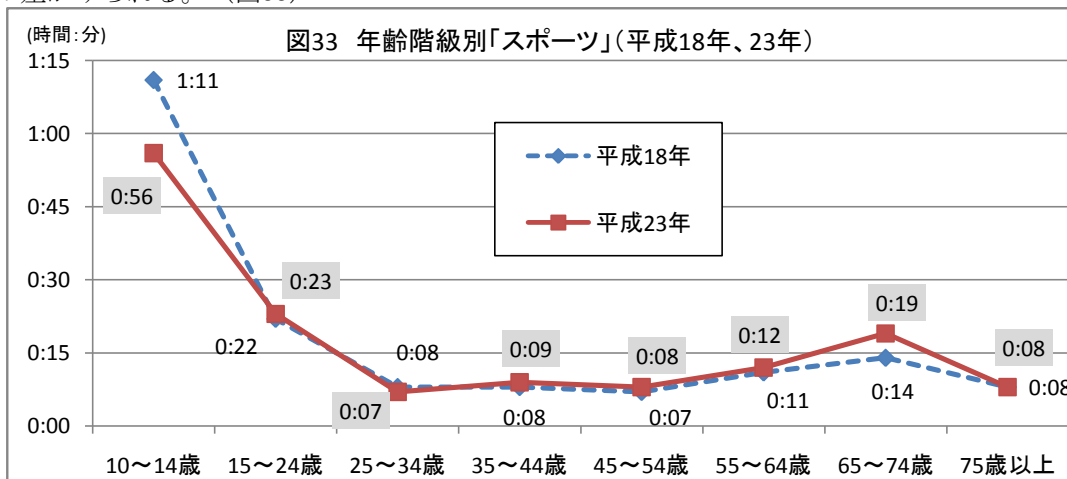
積極的自由時間活動のうち、「スポーツ」は14分であるが、男性は18分、女性は10分で、男性が8分長くなっている。

なお、「スポーツ」は、全国20位で、平成18年の27位から7ランク上昇した。

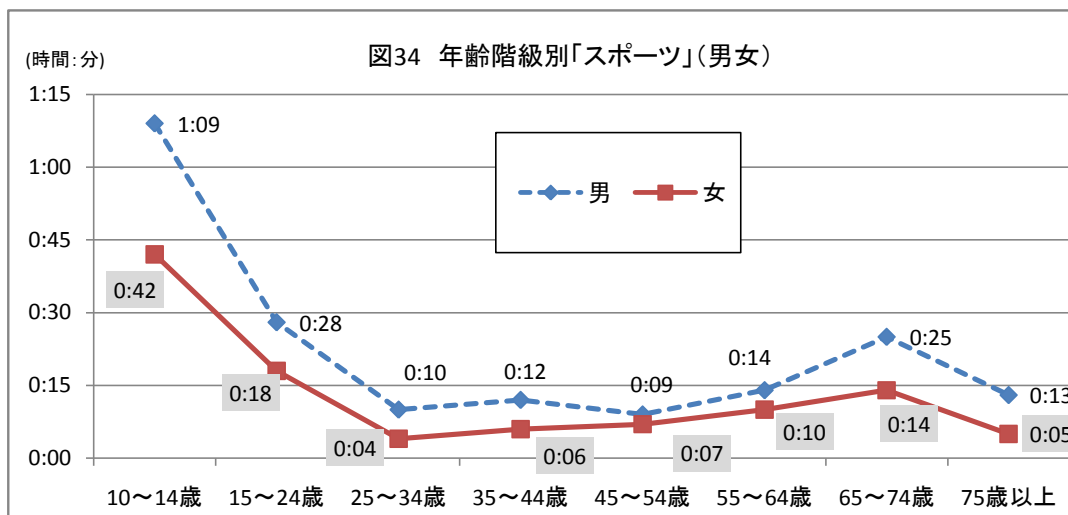
- ① 「スポーツ」は全国の14分と同じである。これを年齢階級別にみると、10～44歳は全国を上回っているが、45歳以上では下回っている。全国、福井県ともに10～14歳が最も長く、25～34歳が最も短くなっている。(図32)



- ② 「スポーツ」は、平成18年の14分と同じである。これを年齢階級別にみると、15～24歳および35歳以上で同じか長くなっている。一方10～14歳、25～34歳では短くなっており、特に10～14歳は15分の差がみられる。(図33)



- ③ 「スポーツ」を男女別にみると、全ての年齢階級で男性が女性より長い。男女とも10～14歳で最も長くなっているが、27分の差がみられる。一方、男性は45～54歳、女性は25～34歳で最も短くなっている。（図34）



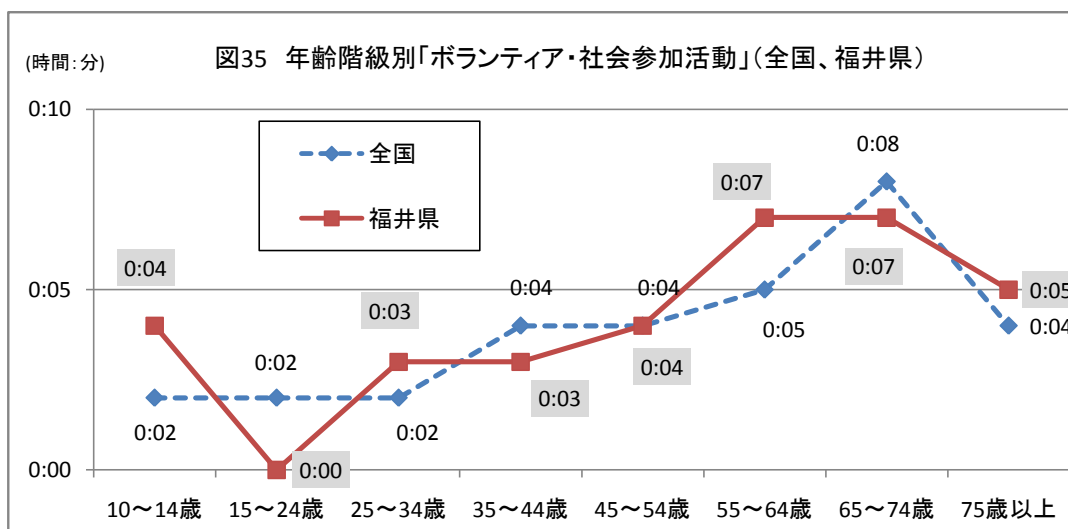
(2-4) ボランティア活動・社会参加活動

ボランティア・社会活動時間は55～74歳で最も長い

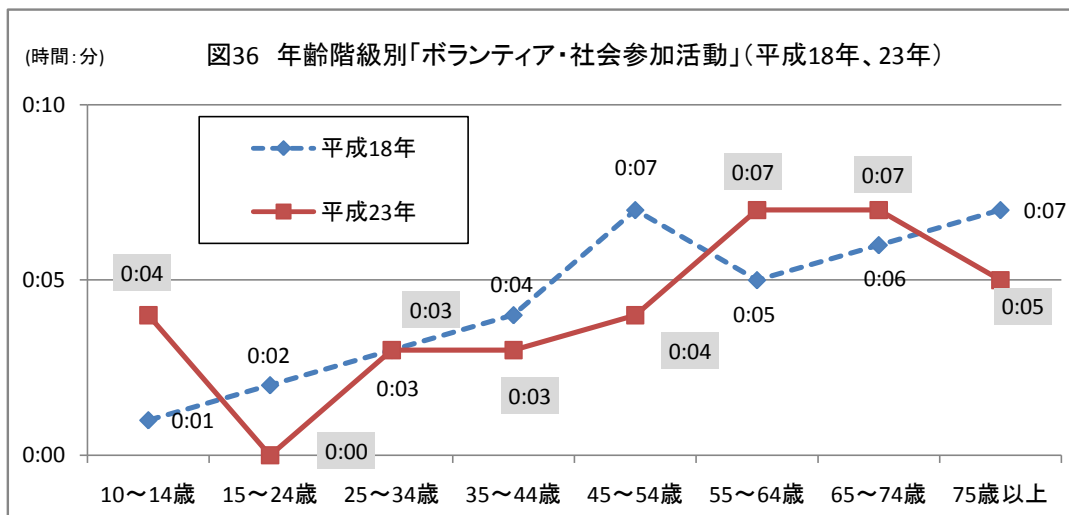
積極的自由時間活動のうち、「ボランティア活動・社会参加活動」は4分、男性は5分、女性は4分で、男性が1分長くなっている。

なお、「ボランティア活動・社会参加活動」時間は、全国20位で、平成18年の13位から7ランク低下した。

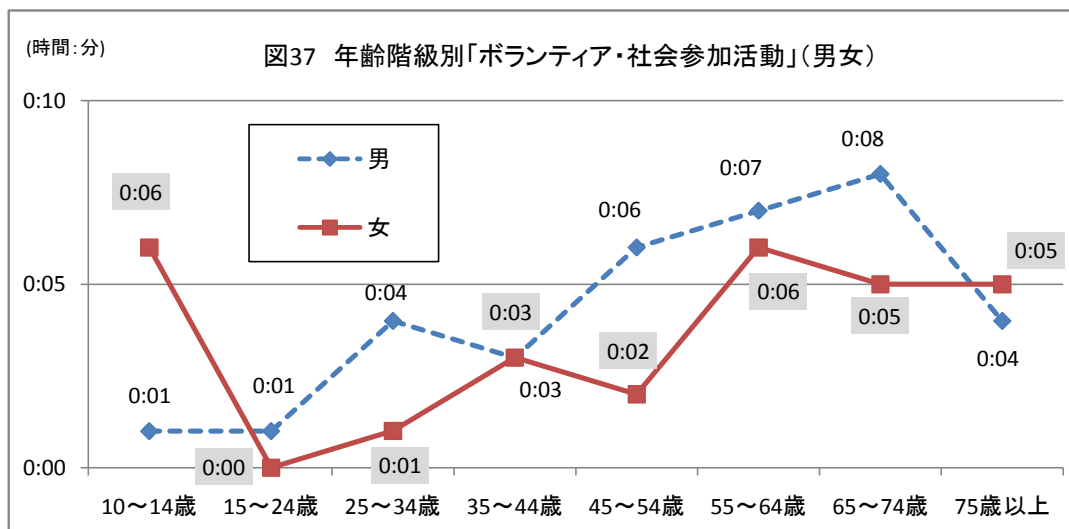
- ① 「ボランティア活動・社会参加活動」は全国の4分と同じである。これを年齢階級別にみると、10～14歳と55～64歳で2分、全国を上回っている。（図35）



- ② 「ボランティア・社会参加活動」を平成18年の5分と比べると、1分短くなっている。これを年齢階級別にみると、10～14歳で3分長くなっている。（図36）



- ③ 「ボランティア・社会参加活動」を男女別にみると、男性は65～74歳が8分、女性は10～14歳と55～64歳で6分でそれぞれの年齢階級で最も長くなっている。（図37）

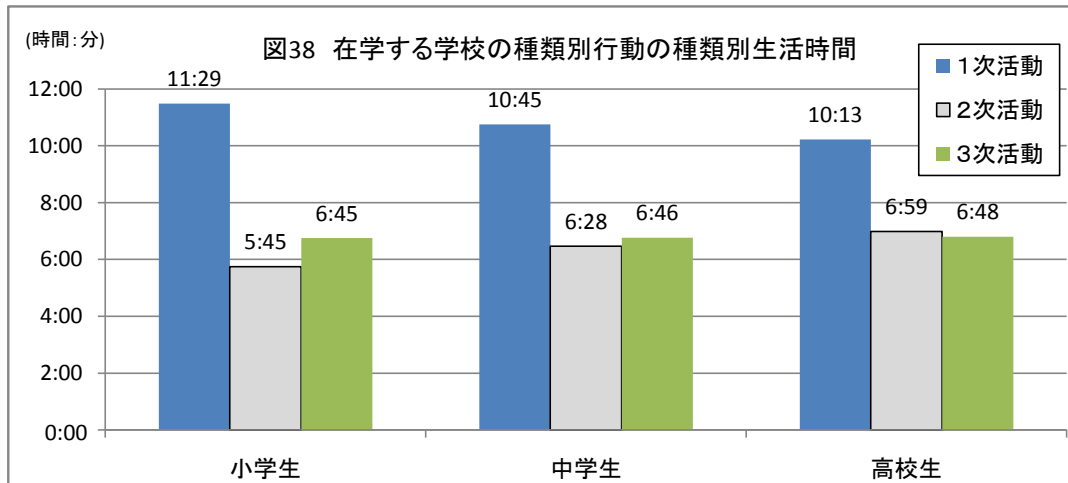


5. 各種属性別にみた生活時間

(1) 在学者

1次活動が最も長い小学生、2次活動・3次活動が最も長い高校生

在学者（10歳以上。以下同じ。）について、主な生活時間を在学する学校の種類別に見ると、小・中・高校生では、上級の学校になるほど、1次活動時間は短く、2次活動時間および3次活動時間は長くなる傾向となっている。（図38）



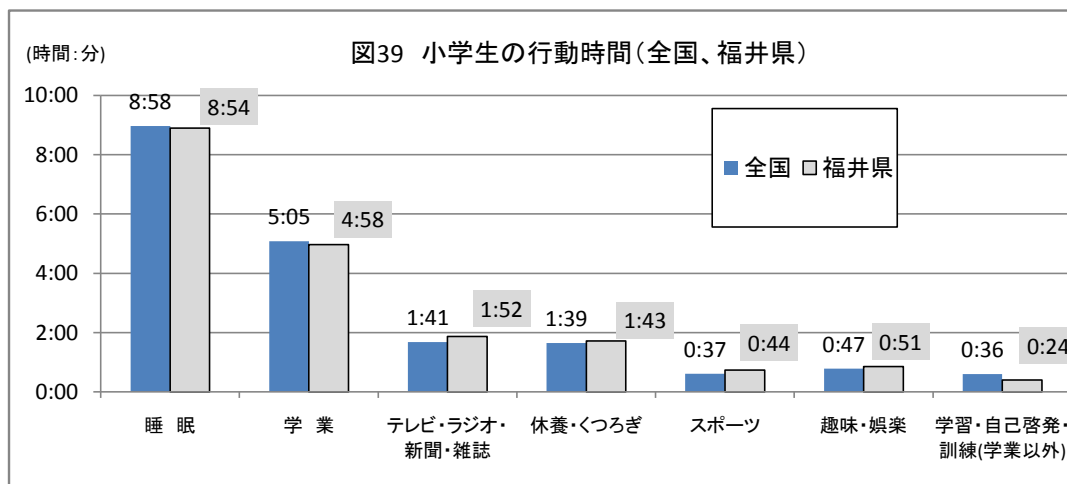
① 小学生

睡眠、学業、学習・自己啓発・訓練は全国より短い

ア 小学生の主な活動時間を全国と比べると、睡眠時間は8時間54分で、全国の8時間58分より4分短くなっている。

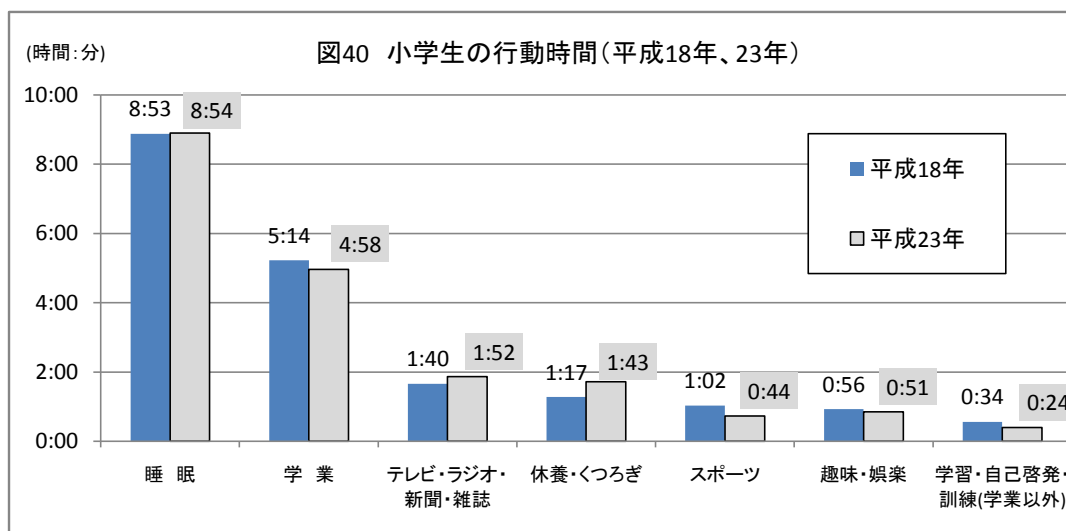
同様に、学業は4時間58分で、全国の5時間5分よりも7分、学習・自己啓発・訓練は24分で、全国の36分より12分、それぞれ短くなっている。

テレビ・ラジオ・新聞・雑誌や、休養・くつろぎ、スポーツ、趣味・娯楽にかかる時間は全国を上回っている。（図39）



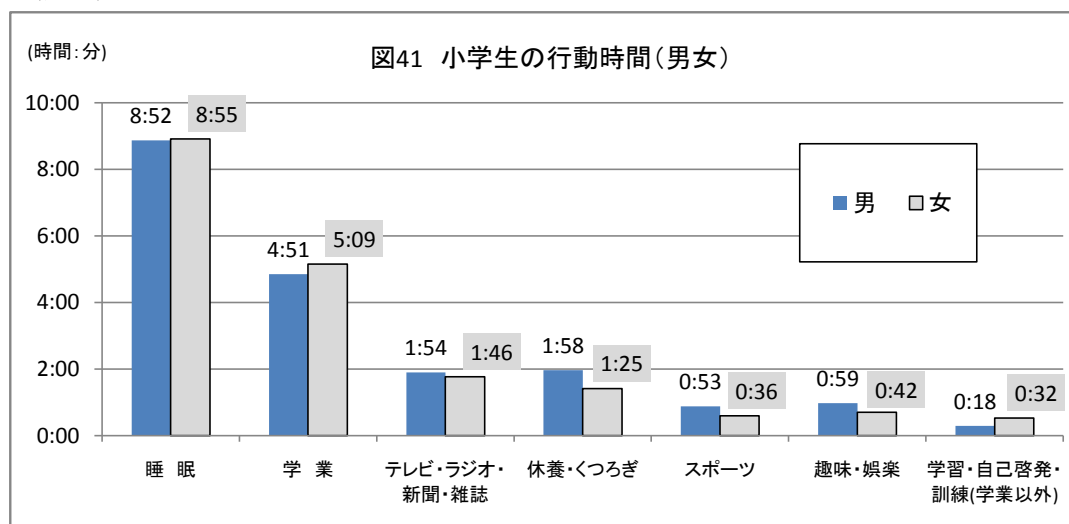
イ 小学生の主な活動時間を平成18年と比べると、テレビ・ラジオ・新聞・雑誌は12分、休養・くつろぎは26分それぞれ長くなっている。

一方で、睡眠時間は1分、学業は16分短くなっているほか、スポーツ、趣味・娯楽、学習・自己啓発・訓練でもそれぞれ短くなっている。(図40)



ウ 小学生の主な活動時間を男女で比べると、女子が睡眠、学業、学習・自己啓発・訓練にかかる時間が、男子より長くなっている。

それ以外の活動時間は、男子の方が長く、特に、休養・くつろぎでは33分の差がみられる。(図41)

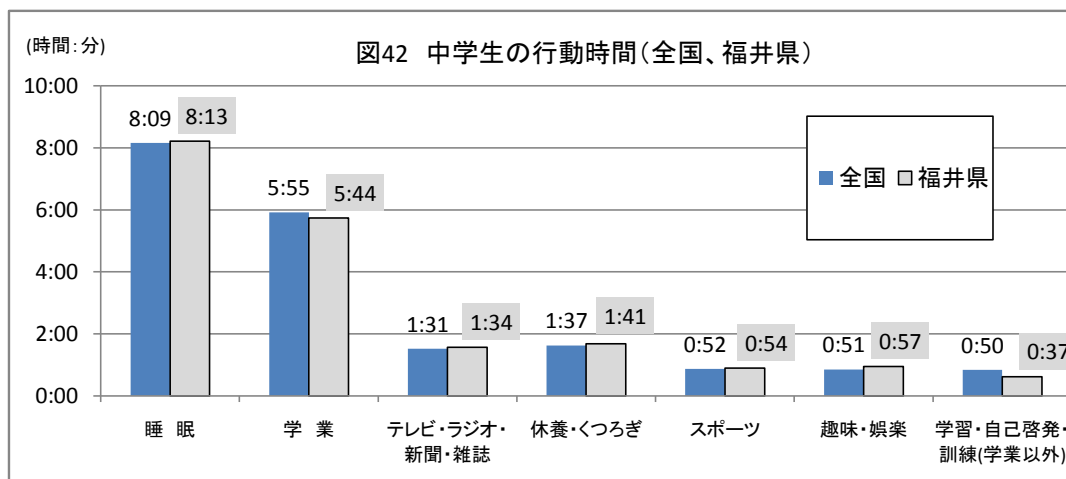


② 中学生

学業の男女差は1時間7分

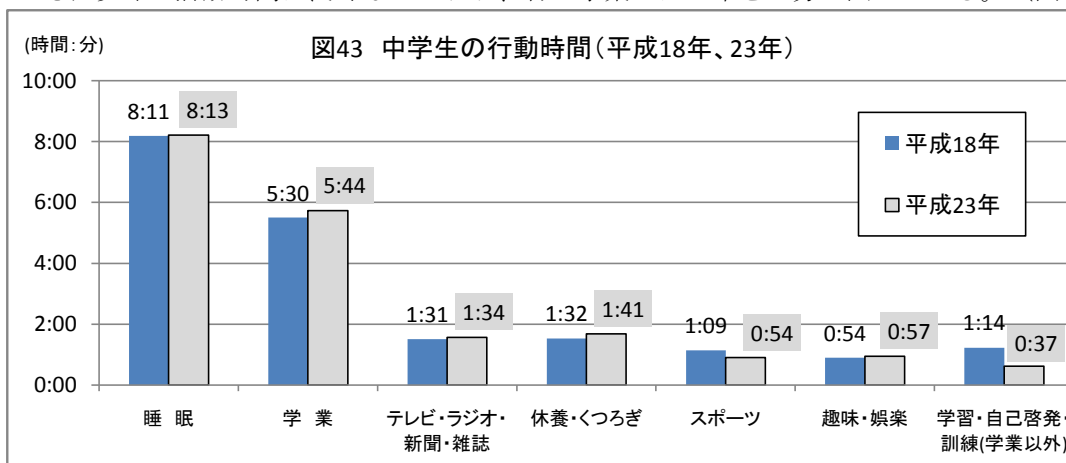
ア 中学生の主な活動時間を全国と比べると、睡眠時間は8時間13分で、全国の8時間9分より4分長くなっている。

一方で、学業は5時間44分で、全国の5時間55分よりも11分、学習・自己啓発・訓練は37分で、全国の50分より13分それぞれ短くなっている。テレビ・ラジオ・新聞・雑誌や、休養・くつろぎ、スポーツ、趣味・娯楽にかかる時間は全国を上回っている。(図42)



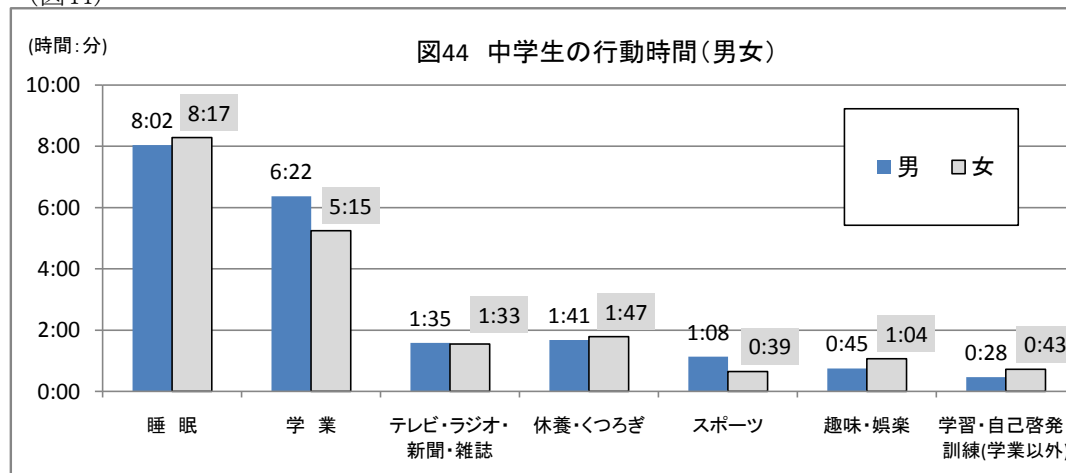
イ 中学生の主な活動時間を平成18年と比べると、スポーツ、学習・自己啓発・訓練で短くなっている。特に学習・自己啓発・訓練では、37分の差がみられる。

それ以外の活動時間は長くなっており、特に学業では18年を14分上回っている。(図43)



ウ 中学生の主な活動時間を男女で比べると、女子が、睡眠、休養・くつろぎ、趣味・娯楽、学習・自己啓発・訓練にかかる時間が、男子より長くなっている。

それ以外の活動時間は、男子のほうが長く、特に、学業では1時間7分の差がみられる。(図44)



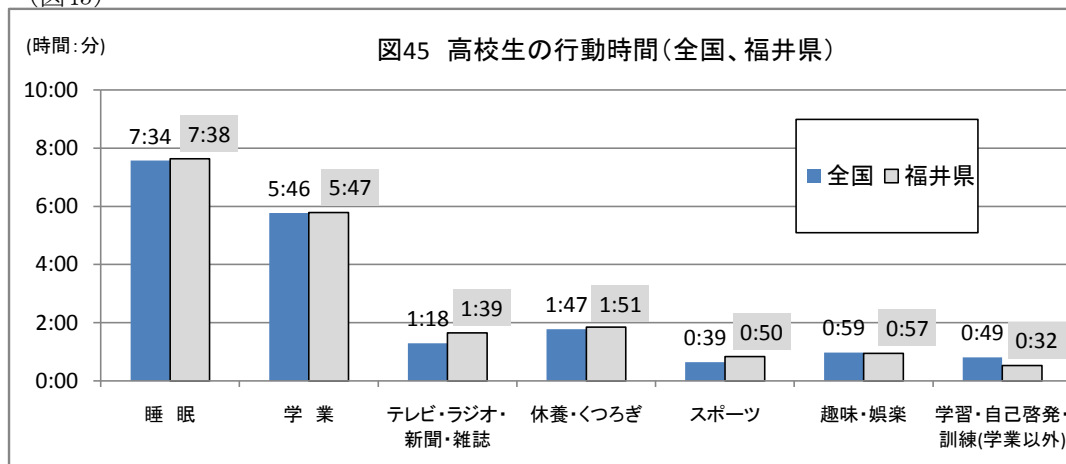
③ 高校生

趣味・娯楽及び学習・自己啓発訓練は全国より短い

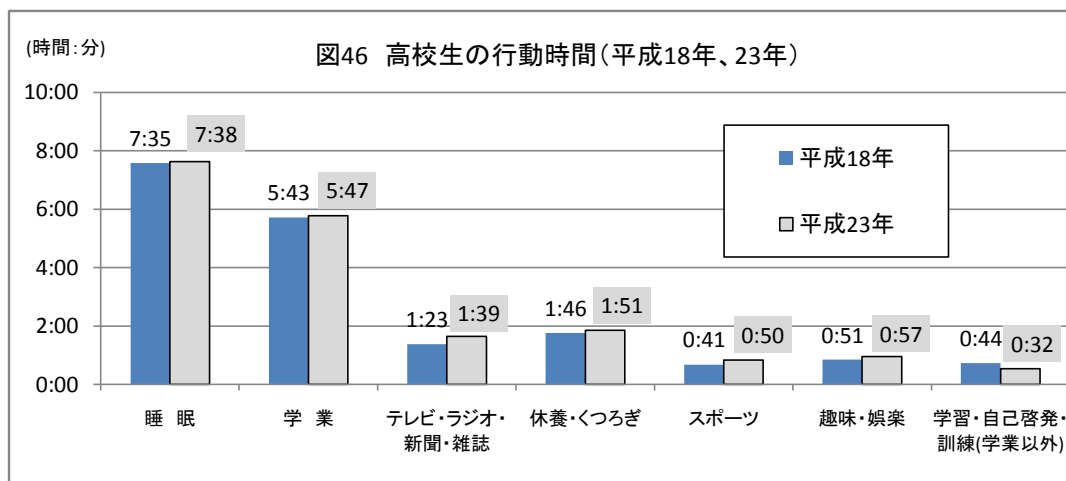
ア 高校生の主な活動時間を全国と比べると、睡眠時間は7時間38分で、全国の7時間34分より4分長くなっている。

同様に、学業、テレビ・ラジオ・新聞・雑誌、休養・くつろぎ、スポーツでそれぞれ長くなっており、特にテレビ・ラジオ等では21分全国を上回っている。

それ以外の活動時間は全国より短く、特に学習・自己啓発・訓練では17分短くなっている。(図45)

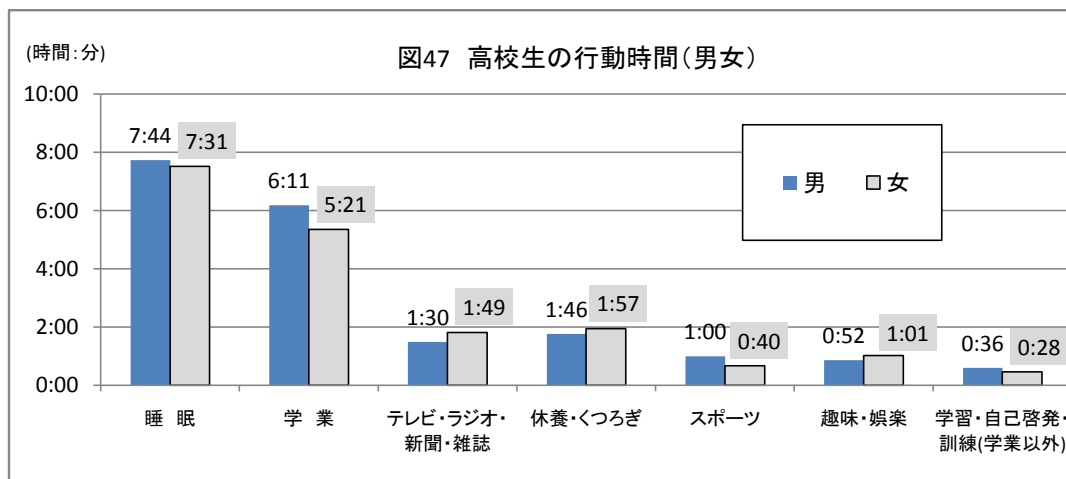


イ 高校生の主な活動時間を平成18年と比べると、学習・自己啓発・訓練以外で長くなっている。特に、テレビ・ラジオ・新聞・雑誌は16分長くなっている。(図46)



ウ 高校生の主な活動時間を男女で比べると、男子が、睡眠、学業、学習・自己啓発・訓練、スポーツで、女子より長くなっている。特に学業では、50分の差がみられる。

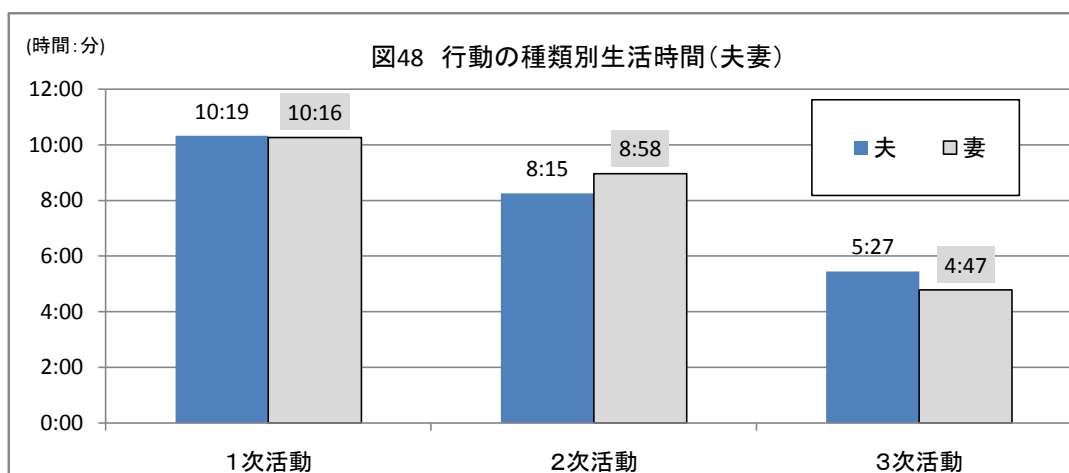
それ以外の活動時間は、女子のほうが長く、テレビ・ラジオ・新聞・雑誌では、19分長くなっている。(図47)



(2) 夫と妻

夫は妻より1次活動時間と3次活動時間が長い

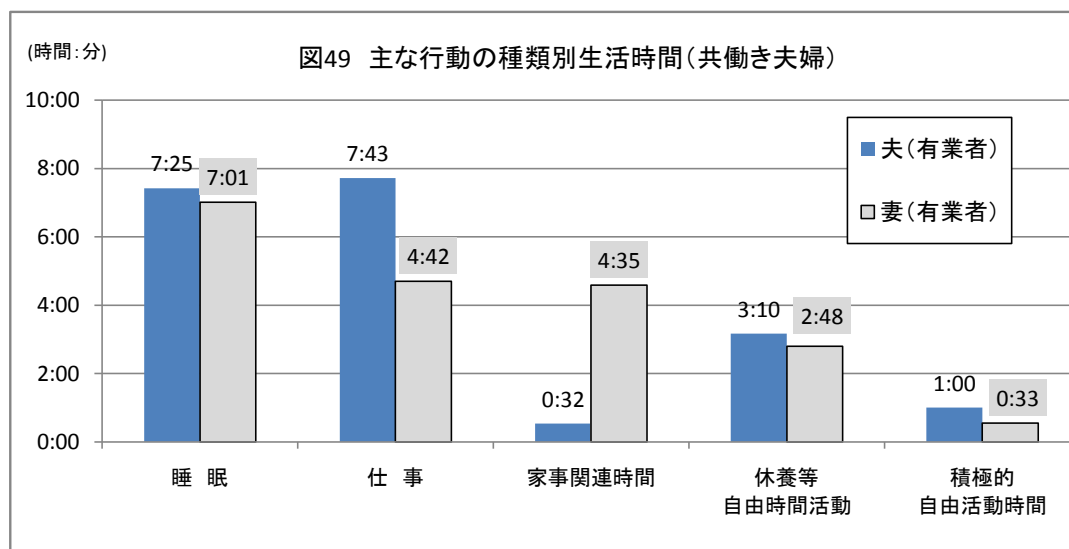
福井県内の同一世帯の夫と妻の生活時間を見ると、夫の1次活動時間は10時間19分、2次活動時間は8時間15分、3次活動時間は5時間27分、妻の1次活動時間は10時間16分、2次活動時間は8時間58分、3次活動時間は4時間47分で、夫が1次活動時間は3分、3次活動時間は40分それぞれ長くなっている。一方で2次活動は、妻が43分長くなっている。(図48)



① 共働き世帯

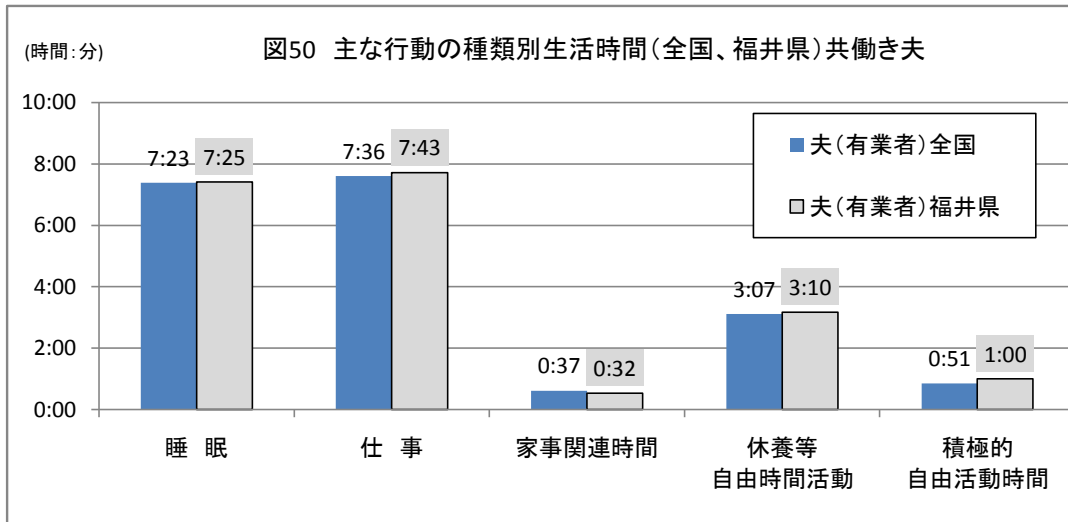
家事関連時間は妻が4時間3分長い

夫婦と子供の世帯のうち、「共働き世帯」(夫も妻も有業の世帯。以下同じ。)について、夫と妻の主な行動の種類別生活時間を見ると、家事関連時間以外で夫が妻を上回っている。(図49)

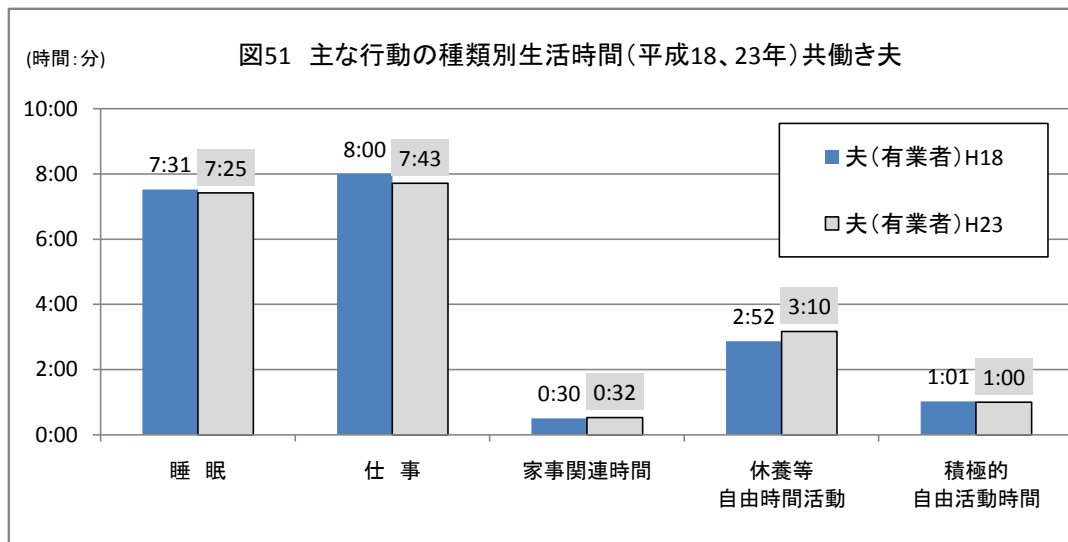


ア 「共働き世帯の夫」

「共働き世帯の夫」について、主な行動の種類別生活時間を全国と比べると、家事関連時間以外で全国より長くなっている。（図50）



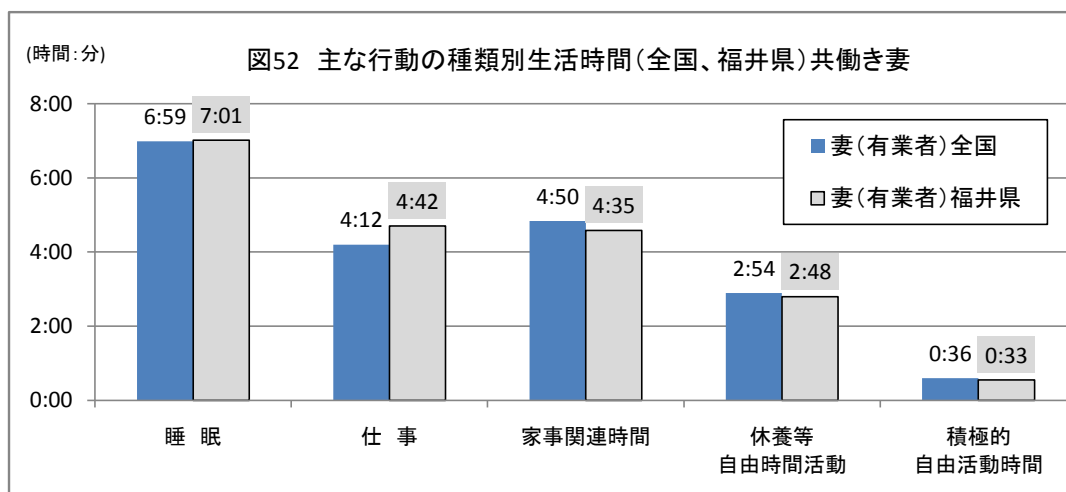
平成18年と比べると、家事関連時間で2分、休養等自由活動時間で18分、それぞれ長くなっている（図51）



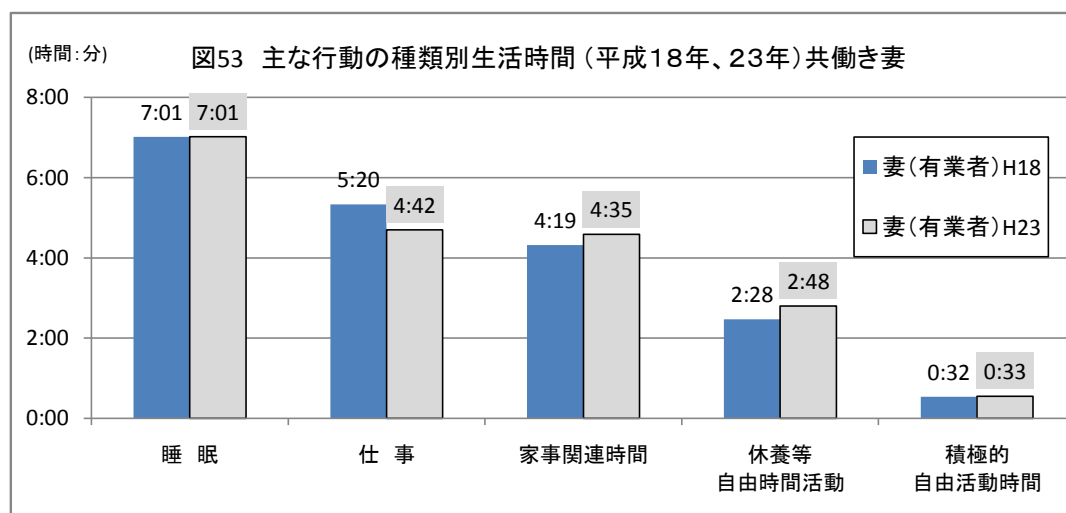
イ 「共働き世帯の妻」

共働きの妻の仕事時間は18年に比べて減少

「共働き世帯の妻」について、主な行動の種類別生活時間を全国と比べると、睡眠、仕事で長くなっている。特に仕事は、全国を30分上回っている。（図52）



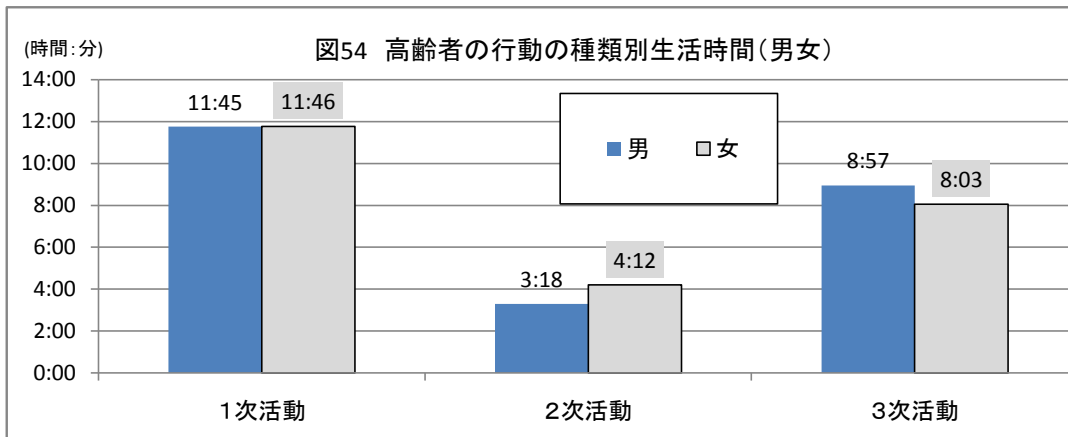
平成18年と比べると、仕事時間が38分短くなっている。それ以外は、同じか長くなっており、特に、休養等自由時間活動は、20分長くなっている。（図53）



(3) 高齢者

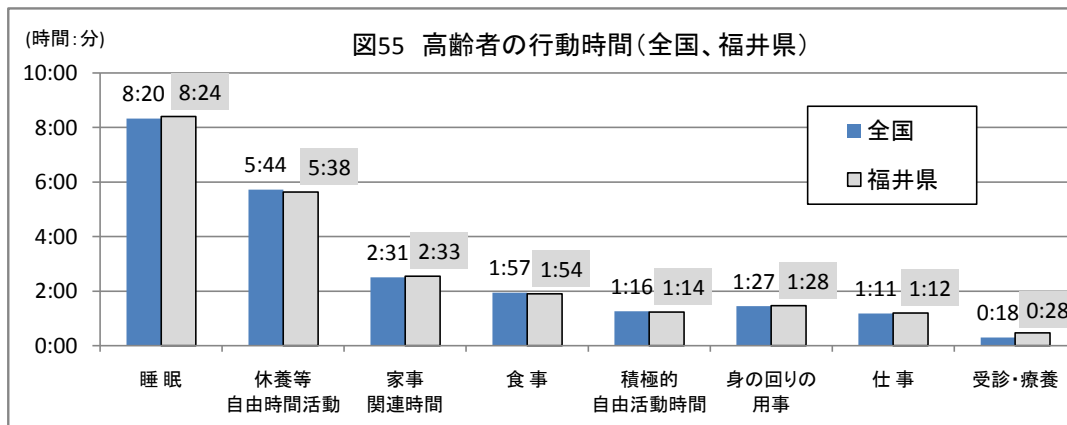
高齢者は男性の方が3次活動時間が長い

福井県内の65歳以上の高齢者について生活時間を男女別にみると、男性の1次活動時間は11時間45分、2次活動時間は3時間18分、3次活動時間は8時間57分、女性の1次活動時間は11時間46分、2次活動時間は4時間12分、3次活動時間は8時間3分で、男性が1次活動時間は1分短く、3次活動時間は54分長くなっている。一方で、2次活動時間は女性が、54分長くなっている。(図54)

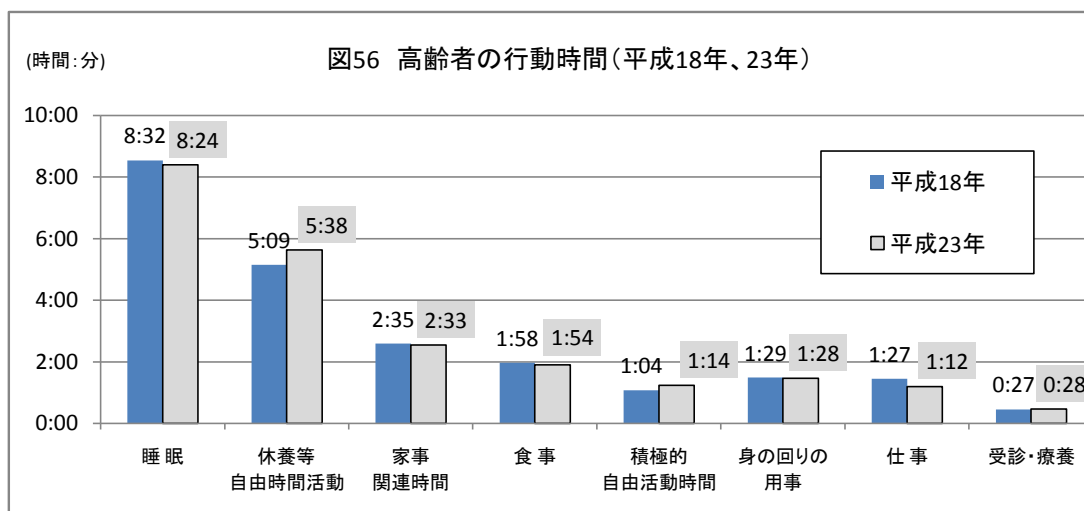


① 高齢者の主な活動時間を全国と比べると、睡眠時間は8時間24分で、全国の8時間20分より4分長くなっている。

同様に、家事関連時間、身の回りの用事、仕事、受診・療養それぞれ長くなっており、特に受診・療養では全国を10分上回っている。(図55)



② 高齢者の主な活動時間を平成18年と比べると、休養等自由時間活動、積極的自由時間活動、受診・療養でそれぞれ長くなっており、特に休養等自由時間活動は29分長くなっている。(図56)



- ③ 高齢者の主な活動時間を男女で比べると、男性が、睡眠、休養等自由時間活動、積極的自由活動時間、仕事でそれぞれ長くなっており、特に仕事では1時間16分女性を上回っている。それ以外の活動時間は女性の方が長く、特に家事関連時間では、男性を2時間14分上回っている。(図57)

